

第2回 鳥取県中部地域公共交通協議会 次第

と き 平成30年11月1日(木)

15時30分～16時30分

ところ 上井公民館 会議室1・2

日 程

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報告事項

(1) 鳥取県中部地域公共交通網形成計画の評価指標について (資料1)

4 協議事項

(1) 鳥取県中部地域再編実施計画の検討状況について (資料2)

※参考資料 鳥取県西部地域公共交通再編実施計画に伴う路線バス運行開始について

5 その他

6 閉 会

「鳥取県中部地域公共交通網形成計画」評価指標数値

目標	評価指標 (算定式)	H28年度	H29年度	H34年度 目標数値	算出根拠
目標 1 移動利便性の向上	指標 1 バス利用者数割合	8.5	8.1	8.5	848,751人÷104,464人=8.1
	(当該年度の年間輸送人員÷当該年度の地域人口)				
目標 2 乗り換え抵抗の低減化	指標 2 バス停環境整備箇所数	21.0%	26.3%	100.0%	H28 4/19箇所 → H29 5/19箇所 H29整備箇所 1箇所：今西（倉吉市） その他に3箇所整備済：山根パープルタウン前 （倉吉市）、恐竜広場前、泊庁舎前（湯梨浜町）
	(当該年度の整備箇所数÷整備が必要なバス停箇所数)				
目標 3 バス利用の促進	指標 3 バス通学生割合	9.5%	9.5%	10.0%	241人÷2,550人=9.5%
	(バス通学生徒数÷総生徒数)				
目標 4 情報提供の強化	指標 4 情報提供の強化	累計4,000部	累計4,500部	累計20,000部	ぐるっとバスなび配布枚数（中部全体） ※バス協会に確認
	(配布した時刻表・バスマップの枚数)				
目標 5 効率的な運行の実現	指標 5 収支率	47.7%	43.4%	50.0%	196,683,815円÷453,508,944円=43.4%
	(バス経常収入÷経常経費)				
目標 6 路線維持のしくみづくり	指標 6 広報紙によるPR回数	各自治体 1回掲載/年	平均1.2回	各自治体 累計5回	6回÷5自治体=1.2回 倉吉市2回、三朝町1回、湯梨浜町1回、 琴浦町0回、北栄町2回 計6回
	(各自治体の広報紙への年間掲載回数の合計)				

**鳥取県中部地域公共交通再編実施計画
検討資料**

(H30 年 11 月 1 日)

鳥取県中部地域公共交通再編実施計画検討資料 目次

事業1-1 通勤・通学利便性の向上

- 1 通勤・通学時間帯のダイヤ・ルートの改善..... 1
- 2 西倉吉工業団地へのバスの乗り入れ..... 7

事業1-2 通院・買物利便性の向上

- 3 河北地域へのバスの乗り入れ..... 11
- 4 病院と商業施設間の移動ダイヤの改善..... 23

事業1-3 倉吉市中心市街地内移動の利便性向上

- 5 倉吉未来中心周辺へのアクセス利便性の改善..... 24
- 6 医療機関へのアクセス利便性の改善..... 26

事業1-4 観光移動の利便性向上

- 7 観光地間をつなぐ路線・ダイヤの改善..... 29
- 8 観光客向けパスの発行・PR..... 31
- 9 インバウンド対応の多言語化..... 31
- 10 地域イベントとの連携..... 32

事業5-1 効率的な運行形態への再編

- 11 長大路線の効率化（赤碕線・小河内線・穴鴨線）..... 34
- 12 土日祝日ダイヤの見直し..... 39
- 13 タクシーの活用等による効率的な運行形態の導入..... 39
- 14 中心市街地における過密ダイヤの緩和..... 39

事業2-1 円滑な移動のための環境整備

- 15 バス停及び主要拠点の待合環境整備..... 40
- 16 住民等との協働による待合環境整備..... 40
- 17 バス車両のバリアフリー化、UD タクシーの利活用の推進..... 42

事業2-2 乗り換え接続の改善

- 18 乗り換え接続時間の短縮化..... 42
- 19 乗り換え情報の提供..... 42

事業2-3 ICカードの導入に関する研究

- 20 ICカードの導入可能性の研究..... 42

事業3-1 高校生のバス利用促進

- 21 自家用車送迎からバス利用への移行促進..... 43
- 22 割引定期のPRと利用促進..... 43
- 23 新たな割引制度・助成制度の創設..... 44

事業3-2 高齢者等のバス利用促進

24 割引定期のPRと利用促進.....	46
25 新たな利用助成制度の創設.....	46
26 運転免許証自主返納者等、移動困難者への対応.....	49
事業3-3 企業・事業所のバス利用促進	
27 企業・事業所への意識啓発の取り組み.....	50
28 パーク&ライドの促進.....	50
事業3-4 バス体験活動の実施	
29 バスの乗り方教室・体験試乗会の開催.....	51
30 商業施設等とのタイアップによる利用促進.....	52
事業4-1 多様な情報提供と内容の充実	
31 ICT等を活用した情報提供の強化.....	54
32 時刻表・バスマップの作成.....	54
事業5-2 貨客混載の取り組み検討	
33 貨客混載の導入に向けた検討.....	56
事業6-1 住民との協働によるしくみづくり	
34 公共交通利用促進に関する情報提供.....	56
35 住民との協働による運行のしくみづくりの研究.....	58
36 住民等との協働による待合環境整備への協力.....	59
事業6-2 持続可能な運行体制支援	
37 ドライバーの確保・育成支援.....	59

事業1-1 通勤・通学利便性の向上

1 通勤・通学時間帯のダイヤ・ルートの改善

(1) 赤碓線の農高・西校経由路線の新設

①現状

○現在、琴浦町・北栄町方面から「倉吉農業高校」「倉吉西高校」「倉吉養護学校」へ通学する生徒は、JR等で倉吉駅まで来た後、社線や広瀬線等のバスを利用するか、赤碓線（日ノ丸）で旧市街地まで来て、他のバスに乗り換えて通学している。このルートでの通学は、一旦倉吉駅や旧市街地まで行ってから引き返す形となる。

○高校ヒアリングでも、「倉吉農業高校」「倉吉西高校」「倉吉養護学校」から西側からのアプローチができないかという要望が出された。

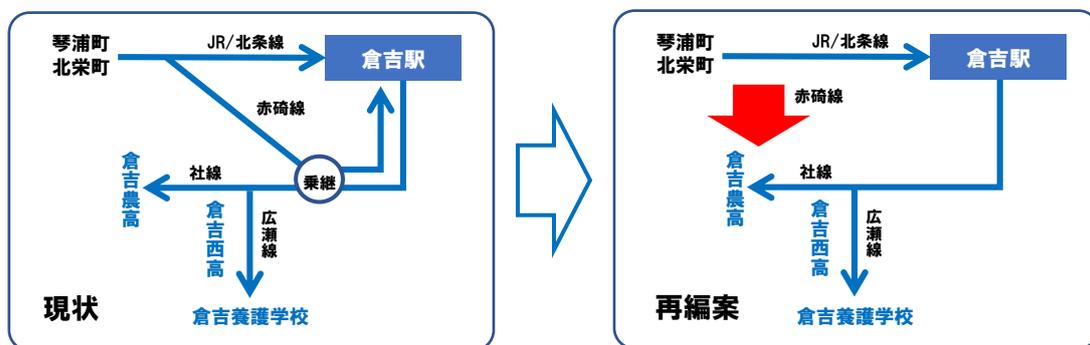


図 1 倉吉市西部の高校への通学ルートと再編案

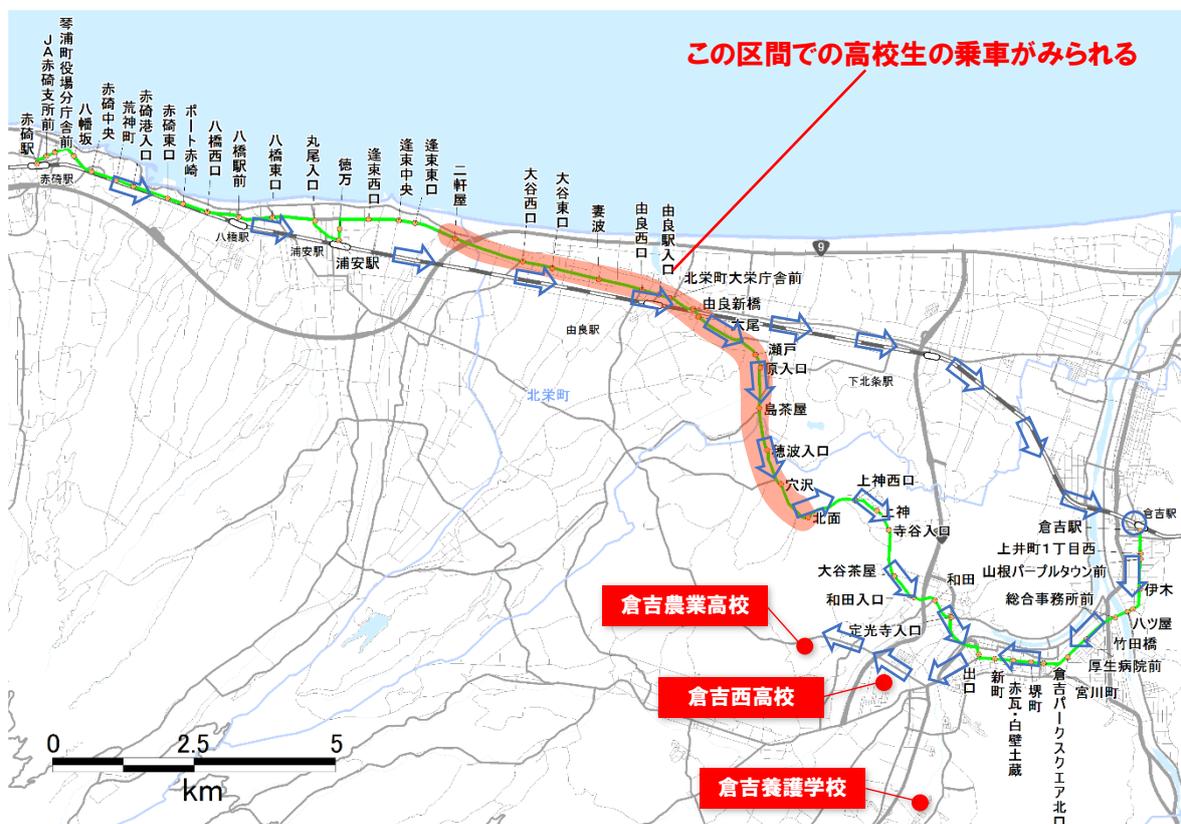


図 2 倉吉市西部の高校と通学ルート

②赤碕線の利用状況

○赤碕線による通学は、琴浦町よりも北栄町の高校生に多くみられる。

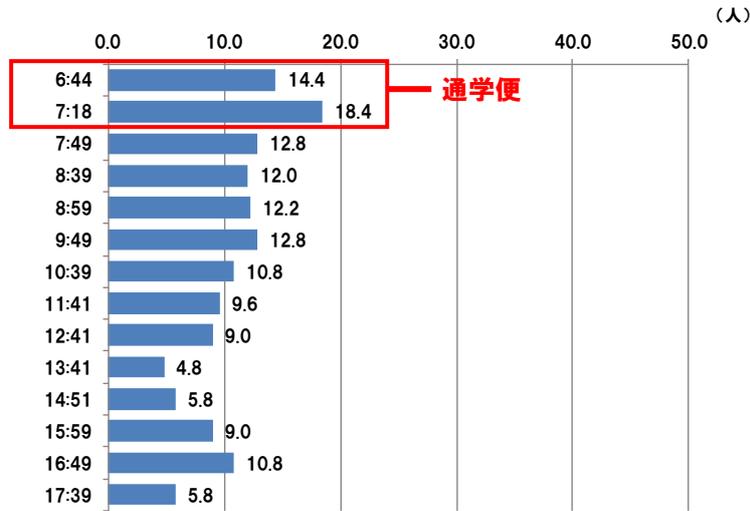


図 3 赤碕線ダイヤ別利用者数 (上り) ※H23 年度～H27 年度の平均値

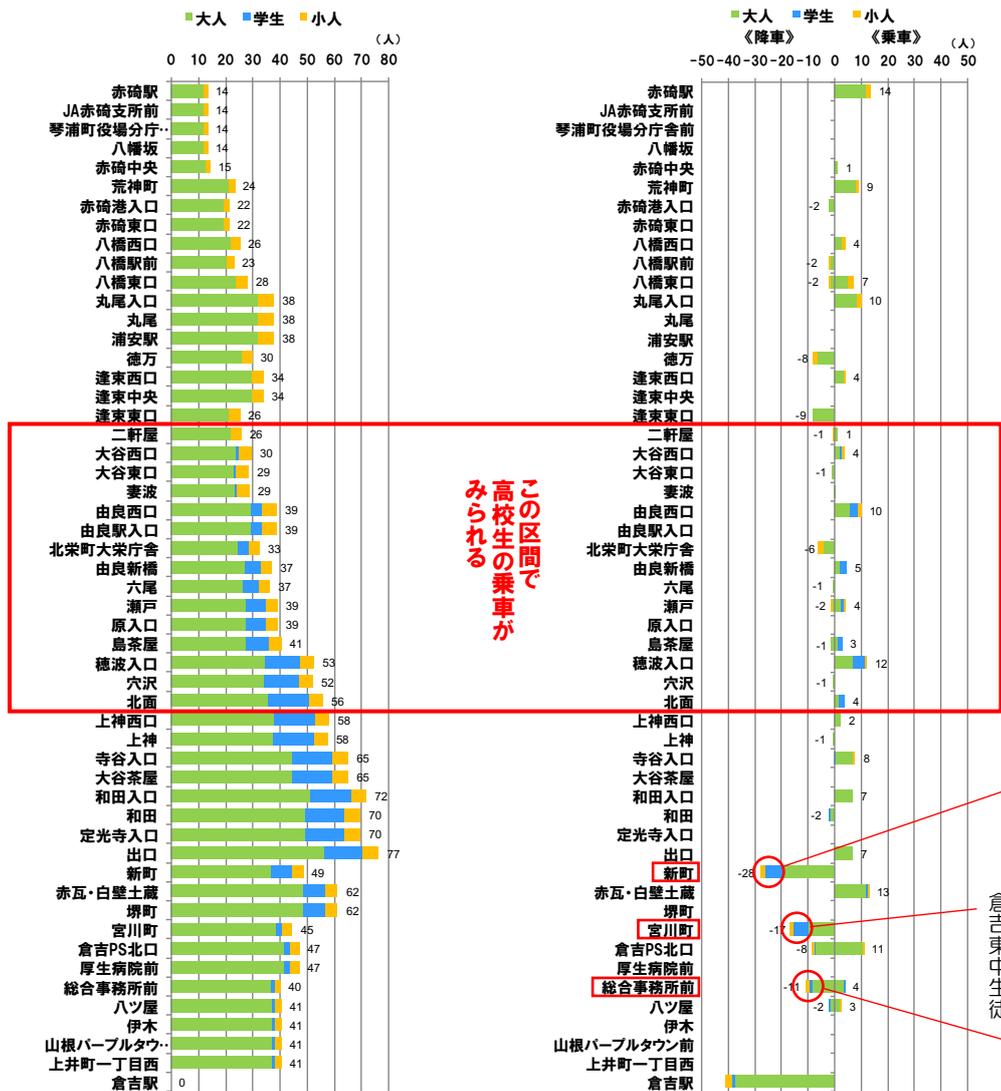


図 4 バス停通過人数 (H23～27 年度平均値)

図 5 バス停別乗降者数 (H23～27 年度平均値)

③再編案

- 現状の利用状況を勘案すると「定光寺入口」までは路線を変えにくいことから、和田橋南詰を左折し福守町方面から県道 151 号へ出て西倉吉まで行き、旧市街地を經由して倉吉駅に至るルート进行想定して、福守町内にバス停の新設を検討する。
- 倉吉農業高校への立ち寄りも検討したが、往復に時間がかかり出発時間を 20 分程度早めなければ他校への通学や通勤に影響を与えるため、西倉吉までの延伸を検討する。
- この再編による倉吉農業高校通学生のメリットとしては、従来の福吉町～倉吉農業高校間の乗車から西倉吉～倉吉農業高校間に短縮されるため運賃が若干安くなることが挙げられる。
- 倉吉西高校については従来の乗換が解消され、西倉吉から徒歩で学校まで行けることがメリットとなる。
- 対象となるダイヤは倉吉東中学校の生徒も通学利用していることから、再編の検討にあたっては「宮川町」バス停への到着時間にも配慮する必要がある。

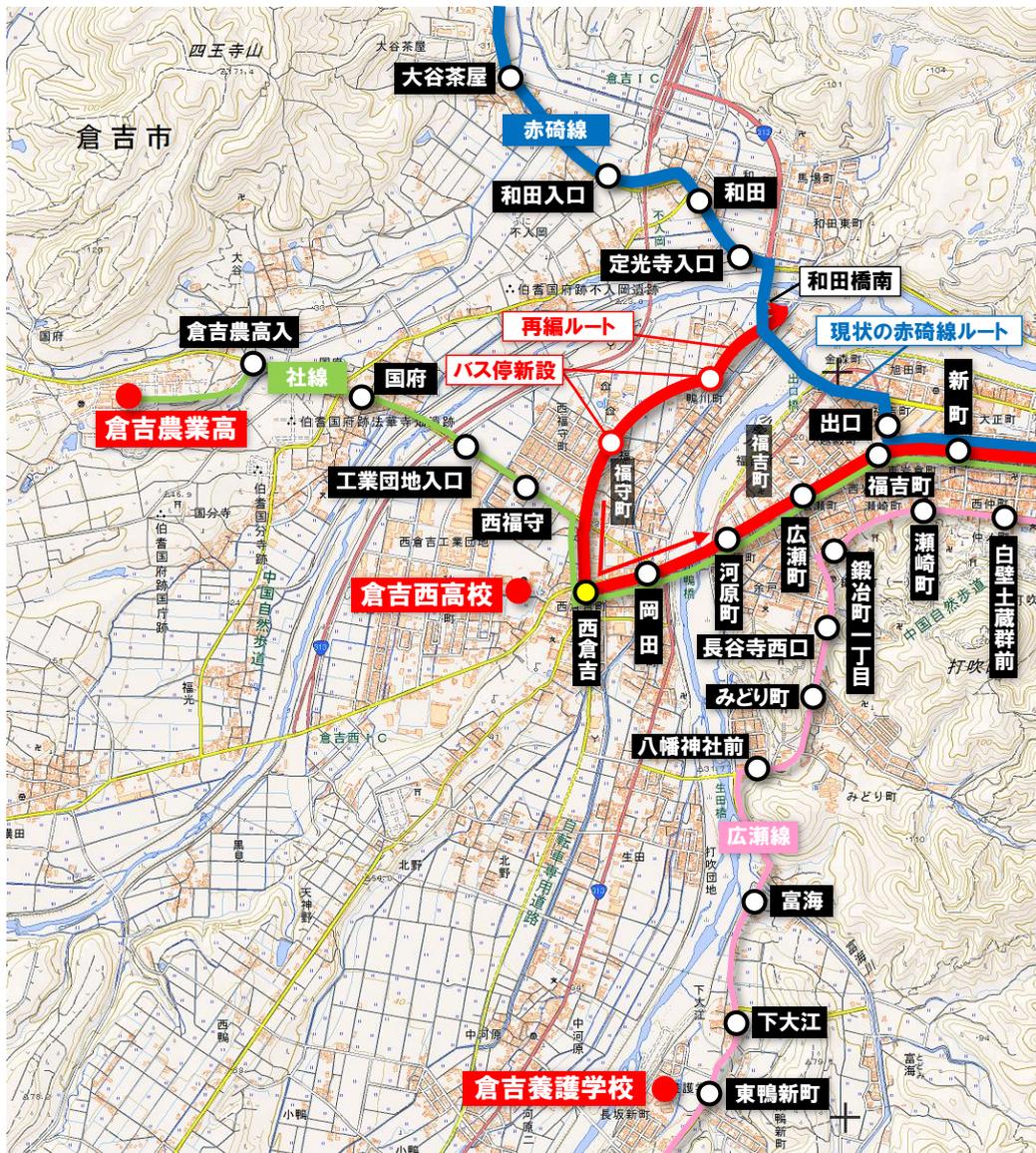


図 6 A 案のルート

表 1 現状との比較

項目	距離	備考
①現状の運行距離	1.4 km	定光寺入口～新町
②再編案の運行距離	3.4 km	定光寺入口～西倉吉～新町
③差し引き延伸距離	2.0 km	②－①
④延長時間（時速 20 kmで算出）	約6分	③×（60÷20）

表 2 再編（案）時刻イメージ

バス停名	現状時刻	所要時間	新時刻	所要時間
赤碓駅	↓ 7:18	-	7:18	-
定光寺入口	↓ 8:03	45分	8:03	45分
西倉吉	↓ -	4分	8:08	5分
新町	↓ 8:07	8分	8:13	5分
総合事務所前	↓ 8:15	8分	8:21	8分
倉吉駅	↓ 8:20	5分	8:26	5分
計		62分		68分

(2) 社線の倉吉農業高校への到着時間の繰り上げ

①現状

○倉吉農業高校への登校便となる社線は、倉吉駅 8:05 発で倉吉農業高校の正門前に 8:30 着となっているが、朝の朝礼が 8:35 開始であり、バスが少し遅れると朝礼に間に合わない。

表 3 JR 山陰本線と社線の接続状況

JR 山陰本線		乗り継ぎ	社線（日ノ丸バス）			朝礼開始時間
方向	倉吉駅着		社線発		倉吉農高玄関前着	
鳥取市⇒倉吉市	7:54	11分	8:05	⇒	8:30	8:35
米子市⇒倉吉市	7:51	14分				

②再編案

【A 案】社線の倉吉駅出発時間の繰り上げ

○JR 倉吉駅への 8:00 前後の列車到着時間は以下のとおりである。

- ・下り 倉吉駅 7:54 着（普通）乗り換え所要時間 6 分
- ・上り 倉吉駅 7:51 着（普通）乗り換え所要時間 9 分

○倉吉駅での接続を考慮すると若干の出発時間の繰り上げが考えられる。

【B 案】倉吉農業高校の朝礼時間の繰り下げ

○倉吉農業高校の朝礼時間を 5 分繰り下げて 8:40 とすることを高校側に検討していただく。

(3) 鳥取短期大学への路線バスの乗り入れ

①現状(ヒアリング結果より抜粋)

○学生の通学については、約 1,000 人の学生のうちアパートや下宿が 200 人程度、車での通学が 150 人程度、500～700 人程度が倉吉駅まで JR で来てその後スクールバスで通学している。自転車での通学も若干ある。島根からの通学生もある。

○スクールバスは学校保有の車両 3 台が運行しており、朝のラッシュ時はこれに加えてもう一台（車両は学校保有、ドライバーは日本交通に委託）でピストン輸送をしている。下校便はスクールバスだけでさばけている。以前は日本交通に全面委託をしていたが、現在は大学で運行している。

表 4 鳥取短期大学 平成 30 年度後期バスダイヤ

午前便		午後便	
大学発 時刻	倉吉駅発 時刻	大学発 時刻	倉吉駅発 時刻
-	8:00	12:25	12:30
-	8:15	12:40	12:45
-	8:35	13:50	13:55
-	8:45	14:10	14:15
-	9:10	14:40	14:45
9:35	9:40	14:55	15:00
10:10	10:15	15:45	15:50
10:30	10:35	16:25	16:30
10:50	10:55	16:35	16:40
11:10	11:15	16:45	16:50
11:45	11:50	17:00	17:05
		17:25	17:30
		18:00	18:05
		18:15	18:20
		18:40	-
		19:00	-
		19:30	-
		20:25	-

※赤枠は登下校時に利用の多い便

表 5 平成 30 年度スクールバス運行状況

◆倉吉駅発

(単位：人)

項目		月	火	水	木	金
I 限受講生 9:00～10:30	看護	178	172	171	255	253
	短大	309	460	453	490	264
合計		487	632	624	745	517

◆大学発

(単位：人)

項目		月	火	水	木	金
II 限終了後 10:45～2:15	看護	-	-	183	-	80
	短大	-	-	-	-	-
合計		-	-	183	-	80
III 限終了後 13:00～4:30	看護	67	67	25	76	67
	短大	-	-	524	-	-
合計		67	67	549	76	67
IV 限終了後 14:45～6:15	看護	189	178	25	178	102
	短大	346	431	-	502	415
合計		535	609	25	680	517

②要望(ヒアリング結果より抜粋)

- 現在はバス路線がないため行動範囲が限られており、上井方面のアパート等で暮らす学生が多いが、旧市街地の方で暮らす学生があってもよいと思う。空き家などを活用して住めるとよい。
- その場合、スクールバスは無料で利用できるが、旧市街地からは路線バスを利用することになるので、運賃負担等について配慮する必要がある。
- 看護学生は実習等で倉吉市内の公民館に出かけることがよくあり、短大生より行動範囲が広い。それらの学生が路線バスを使えば、利用促進になると思う。
- フィギュアミュージアム等にバスで行けるようになるとよい。
- 上記のような点を踏まえ、路線バスが学内に入ってくるようになるとよいと考えており、現在、鳥取短期大学、倉吉市と日本交通の3者で検討している。
- 一度に乗車する学生が多いので、一旦倉吉駅まで行き、そこから延伸して入ってくればよいと思う。循環線的な路線があるとよい。

③再編案

- スクールバスの利用状況としては、曜日によって異なるが、1限目の授業を受けるため倉吉駅から大学までの間を利用する学生が最も多い。大学から倉吉駅間の利用は4限終了後と水曜日の3限終了後となっている。
- これらの授業終了時間を考慮し、市内線やパークスクエア線といった運行距離の短い路線を中心に、倉吉駅到着後に短大に行く便、短大発で倉吉駅を経由して旧市街地に行く便を検討する。

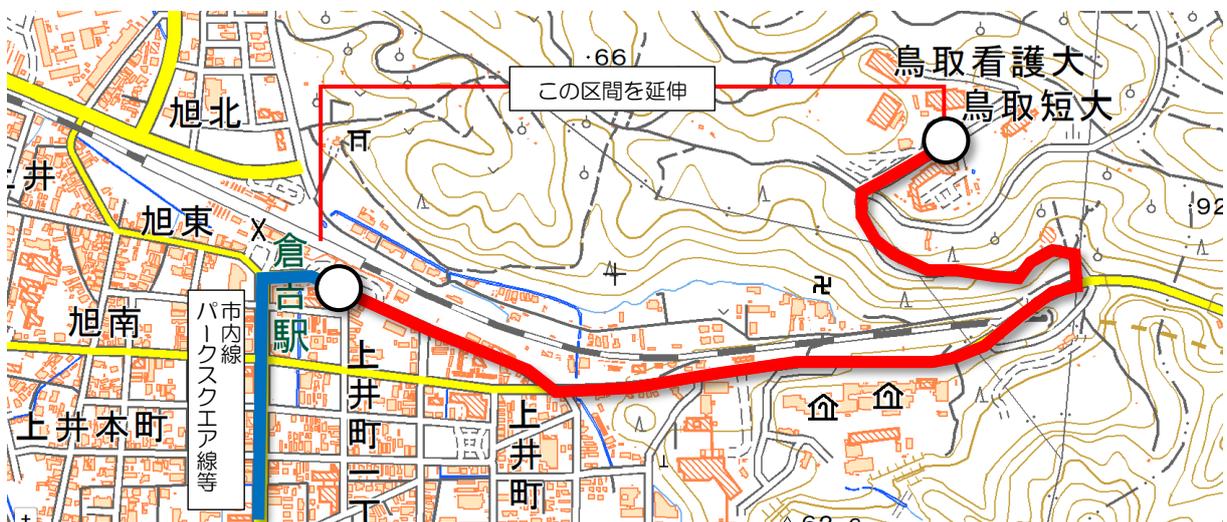


図 7 鳥取短期大学乗り入れイメージ

2 西倉吉工業団地へのバスの乗り入れ

(1) エコ通勤の現状

○西倉吉工業団地でのヒアリング結果によるエコ通勤の現状は下表のとおりで、ほとんどの従業員は自家用車通勤をしているが、一部バスの需要も見受けられる。

表 6 西倉吉工業団地内企業のエコ通勤に関するヒアリング結果（抜粋）

ヒアリング先	JR・バスを利用した通勤の状況	西倉吉工業団地内へのバスの乗入について
(株)トポ倉吉工房	○ほぼ 100%自家用車利用 ○近隣に住む従業員は徒歩・自転車通勤。	○あまり必要性を感じない。
尾池工業(株)倉吉事業場	○自家用車がほとんどで、バス通勤はいない。 ○積雪時も車を利用して通勤。	○あまり必要性を感じない。
(株)エースバック鳥取倉吉工場	○公共交通による通勤者はおらず、ほとんどがマイカー通勤。 ○近隣に居住している従業員は自転車通勤。	○条件付き賛成
廣川マテリアル株式会社	○従業者全員が自家用車通勤 ○積雪時も自家用車通勤。(公共交通はすぐにストップする)	○あまり必要性を感じない。
オンキョー&バイオニア イノベーションズ株式会社	○JR・バスの通勤者/5人(社員2人、派遣社員3人)但し、冬場は積雪の状況により一時的にバス利用者あり(+自転車からバスへの移行)	○必要性あり
(株)グッドスマイルカンパニー	○自家用車通勤がほとんど。 ○自転車通勤が 4~5 人(1 ターン者含む。近場からの通勤)※ターン者は運転免許を持たない人が多い。	○必要性あり

(2) バス通勤をする際の問題点・課題

○バス通勤の際の問題点・課題については、下表のように「本数が少ない」「バス停が遠い」「遅い時間のダイヤがない」などの意見がみられ、エコ通勤促進のための条件としては「ダイヤの充実」等の声が挙がっている。

表 7 西倉吉工業団地内企業の本数通勤の問題点・課題

ヒアリング先	バス通勤をする際の問題点・課題	エコ通勤を促進する際の条件
(株)トポ倉吉工房	○新卒者を対象とした応募前見学や入社試験等の場合、公共交通利用があるかもしれない。 ○入社 1 年間は公共交通による通勤を奨励したいが、交通の便が良くないのでできない。 ○積雪は自家用車通勤に影響を与えない。	○バスダイヤの充実 ○自家用車通勤は事故のリスクがある。(十分な任意保険に入らないと自家用車通勤を認めていない)
尾池工業(株)倉吉事業場	○バス停が遠い。(工業団地入口は社線の本数が少ないので西倉吉で下車して歩く)	○エコ通勤によるメリットがあまりない。
(株)エースバック鳥取倉吉工場	○バス停の位置、運行ルート、運行本数、運行時間等 ○女性は帰宅時に買物等をするのでバスは使いにくいのではないかと。 ○自分のペースで出勤し、終業後はすぐに帰りたいので車に頼る。 ○仮に公共交通で通勤した場合、帰宅時にバスの時間まで待つスペースはある。(休憩室・食堂) ○夜勤には対応できない。	○ダイヤの充実 ○大雪の時、車で出勤できず会社を休むケースがある。(今年の冬も 2/3 が休んだ)このような時、バスで確実に通勤できるのであればメリットとなる。
廣川マテリアル(株)	○遅い時間の便がない。 ○バス停から距離がある。(選果場前)西倉吉から会社まで 2 km 程度ある。	○可能性は低い。
オンキョー&バイオニア イノベーションズ(株)	○最寄りバス停「工業団地入口」から会社まで距離がある(徒歩 15 分程度) ○8時始業のシフトに社線が対応していない。 ○帰宅時間帯のダイヤも少ない。 ○工業団地入口バス停が上り方向にない。	○バス通勤の場合、突発的な残業が発生しても勤務時間に制限がかかる。 ○ダイヤの充実(朝、夕方)
(株)グッドスマイルカンパニー	○以前、短大生のアルバイトを雇用したことがある。今後も雇用する可能性があるため、バスの便があるとよい。	○朝は 8:00 過ぎ、帰宅時は 18:00 台、19:00 台の便があるとよい。 ○今後も従業員を増やしたいが駐車場の確保が難しい。バスによる通勤が増えればよい。

(3) 乗り入れの方向性

① バス停の位置

○西倉吉工業団地の主要企業のヒアリングから、バス利用の可能性がみられるのは「オンキョー&パイオニアイノベーションズ(株)」「(株)グッドスマイルカンパニー」であることから、この企業の入口周辺へのバス停設置を検討する。



図 8 西倉吉工業団地への乗り入れルート案

② 乗り入れ路線

○乗り入れる路線として県道 151 号を通過する社線と北谷線（国府経由）が考えられる。



図 9 社線の西倉吉工業団地への延伸案



図 10 北谷線の西倉吉工業団地への延伸案

表 8 現状との比較

西倉吉工業団地内ルート	距離
延伸距離	1.3 km
延長時間（時速 30 km で算出）	約 3 分

③乗り入れの時間帯

【出勤時】

○出勤時のダイヤとしては、北谷線に下表の時間帯がある。

○社線は前述の理由により出勤時には使えない。

表 9 北谷線の既存ダイヤ（出勤時）

バス停名	時刻
倉吉駅	↓ 7:35
西倉吉	↓ 7:53
工業団地入口	↓ 7:56
国府	↓ 7:57
横田	↓ 8:03
中野上	↓ 8:15

【帰宅時】

○帰宅時のダイヤとしては、下表のような時間帯が考えられる。工業団地内を迂回することで運行時間が3分程度時間が長くなるので、再編の検討にあたってはダイヤによっては若干出発時間を繰り上げる必要がある。

表 10 対象路線の既存ダイヤ（帰宅時）

種別	バス停名	社線				北谷線	
日ノ丸 バス	倉吉農高	17:16		18:16		-	
	中野上	↓		↓		19:11	
	横田	↓		↓		19:22	
	国府	17:18		18:18		19:28	
	工業団地入口	17:19		18:19		19:29	
	西倉吉	17:22		18:22		19:32	
	倉吉駅	17:46		18:46		19:50	
乗り継ぎ							
JR	倉吉駅	18:10	18:15	18:51	19:17	19:57	19:57
	鳥取駅	19:01	↓	19:32	↓	20:57	↓
	赤碕駅	-	18:47	-	19:45	-	20:14
	備考			とっとり ライナー			とっとり ライナー

事業1-2 通院・買物利便性の向上

3 河北地域へのバスの乗り入れ(倉吉駅以南の路線延伸、橋津線・北条線ルート変更)

(1) これまでの実証運行内容

○平成 23 年から平成 24 年まで行った実証運行の概要、結果は以下のとおりである。

【運行ルート】

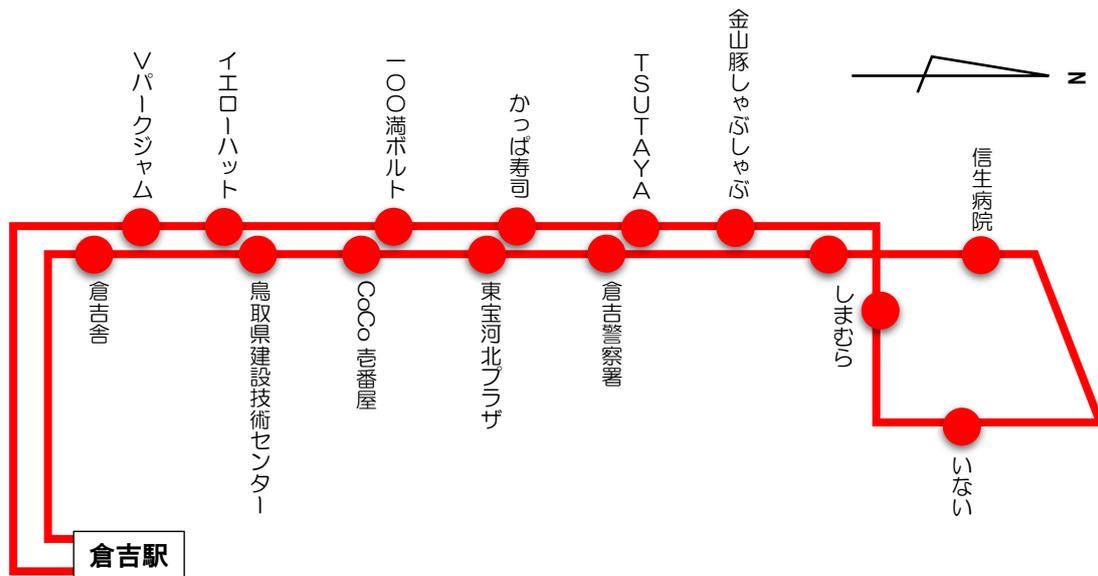


図 11 平成 23 年度実証運行時の運行ルート

○平成 24 年 4 月以降、ルートを「新あじそうパープル店前」経由に変更した。

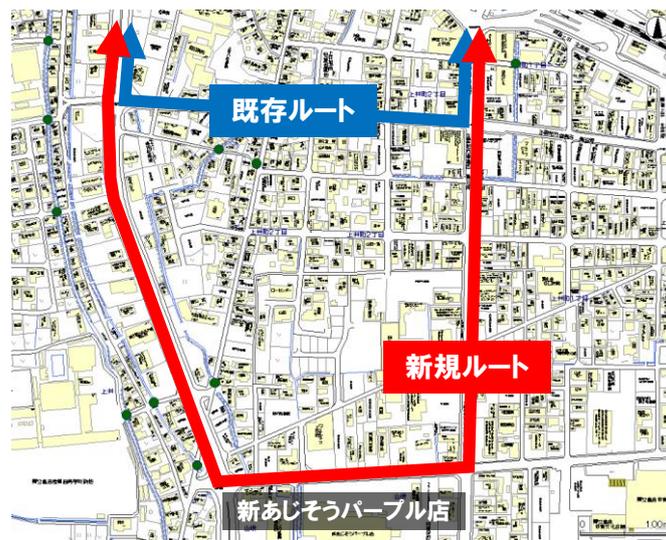


図 12 運行ルートの変更

【利用促進に向けて行った取り組み】

①回数券の発行

日交・日ノ丸共通の額面 150 円の回数券 (11 枚綴り) が既にあることから、「駅北循

環バス」の押印を行い使用した。その他回数券（100 円・50 円）は作成しなかった。

②1日乗車券の発行

1日乗り放題の乗車券を発行。料金は一律 300 円。

※販売所：各バスセンター、エキパル倉吉、パープルタウン、バス車内（1日乗車券のみ）

③回数券サービス事業

希望する店舗に対し回数券綴り（11 枚×3 綴）を配布し、乗車証明書を提示した各店舗で一定額以上の購入をされた方に回数券を進呈した。

表 11 実証運行概要（赤字は変更した箇所）

運行期間	平成 23 年 10 月から平成 24 年 3 月まで
運行内容	【運行日】毎日 【運賃】中学生以上：150 円、小学生：100 円、小学生未満：無料、障がいのある人とその介護者：50 円 【運行距離】7.9km（垣田病院前）【バス停数】16 箇所【運行時間】9 時～18 時 【運行回数】30 分間隔（全 18 便）【運行主体】バス事業者（2 社）
運行補助額	5,850 千円（決算額）
運行期間	平成 24 年 4 月から 9 月まで
運行内容	【運行日】変更なし【運賃】変更なし【運行距離】9.5km（パープルタウン前） 【バス停数】22 箇所【運行時間】変更なし【運行回数】変更なし 【運行主体】変更なし
運行補助額	6,861 千円（決算額）
備考	※回数券・1 日乗車券の発行
運行期間	平成 24 年 10 月以降
運行内容	【運行日】変更なし【運賃】変更なし【運行距離】変更なし 【バス停数】変更なし【運行時間】10 時～16 時 【運行回数】60 分間隔（全 7 便）【運行主体】バス事業者（1 社）
運行補助額	2,052 千円（予算額）
備考	※回数券・1 日乗車券の発行

表 12 駅北循環バス利用状況（採算ラインは 1 便あたり 15 人程度）（単位：人）

月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
月別利用者数	1,431	1,171	1,491	1,316	1,426	1,511
1 日利用者数	46.2	39	48.1	42.5	49.2	48.7
1 便利用者数	2.56	2.17	2.67	2.39	2.73	2.71
月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
月別利用者数	1,784	1,735	1,826	1,694	1,819	1,596
1 日利用者数	59.5	56	60.9	54.6	58.7	53.2
1 便利用者数	3.3	3.11	3.38	3.04	3.26	2.96
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
月別利用者数	1,212	1,140	1,346	1,122	1,026	1,178
1 日利用者数	39.1	38	43.4	36.2	36.6	38.0
1 便利用者数	5.59	5.43	6.2	5.17	5.23	5.43

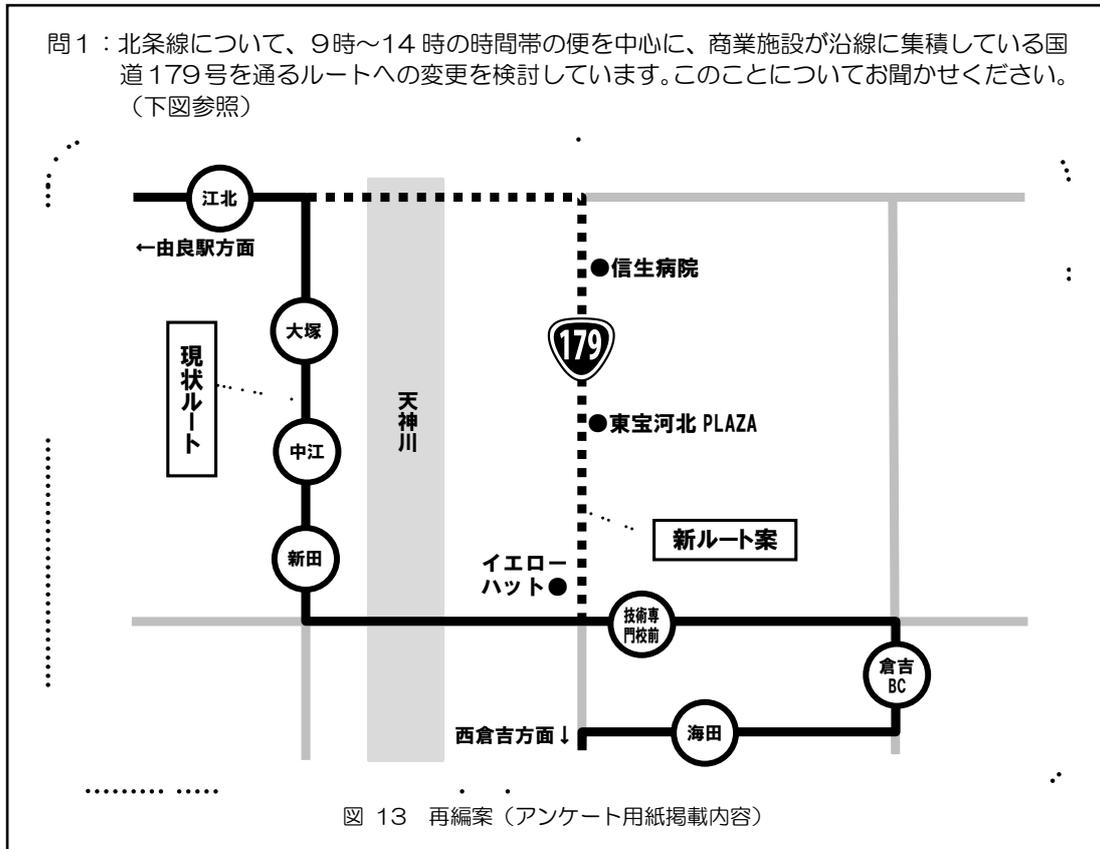
【実証運行結果】

○平成 23 年 10 月から運行開始し、その後も利用者の増加や効率的な運行を目的に運行経路や運行回数を変更したが、極端な利用者の増加は見られなかった。

○平成 25 年 3 月末をもって、駅北循環バスの実証運行は終了した。（実証運行期間満了）

(2) 橋津線・北条線のルート変更についての住民アンケート結果

①北条線



【利用意向】

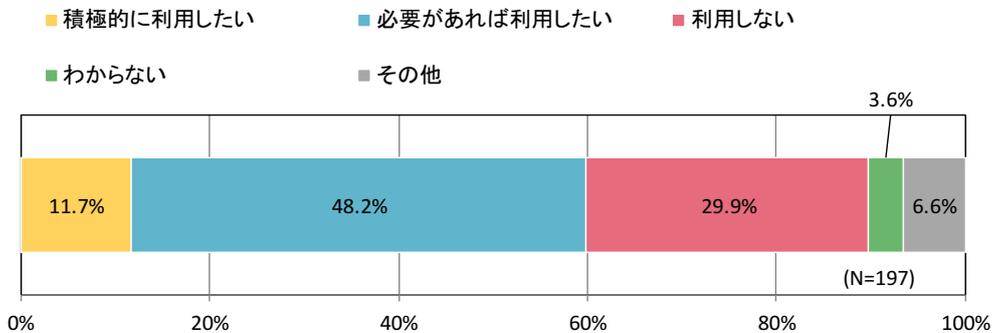
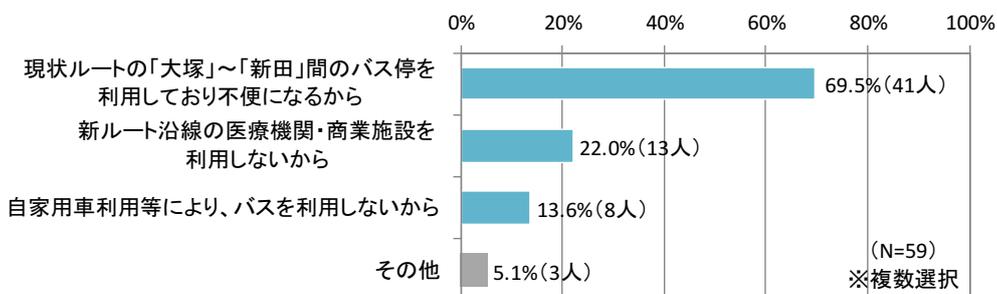


図 14 利用意向グラフ

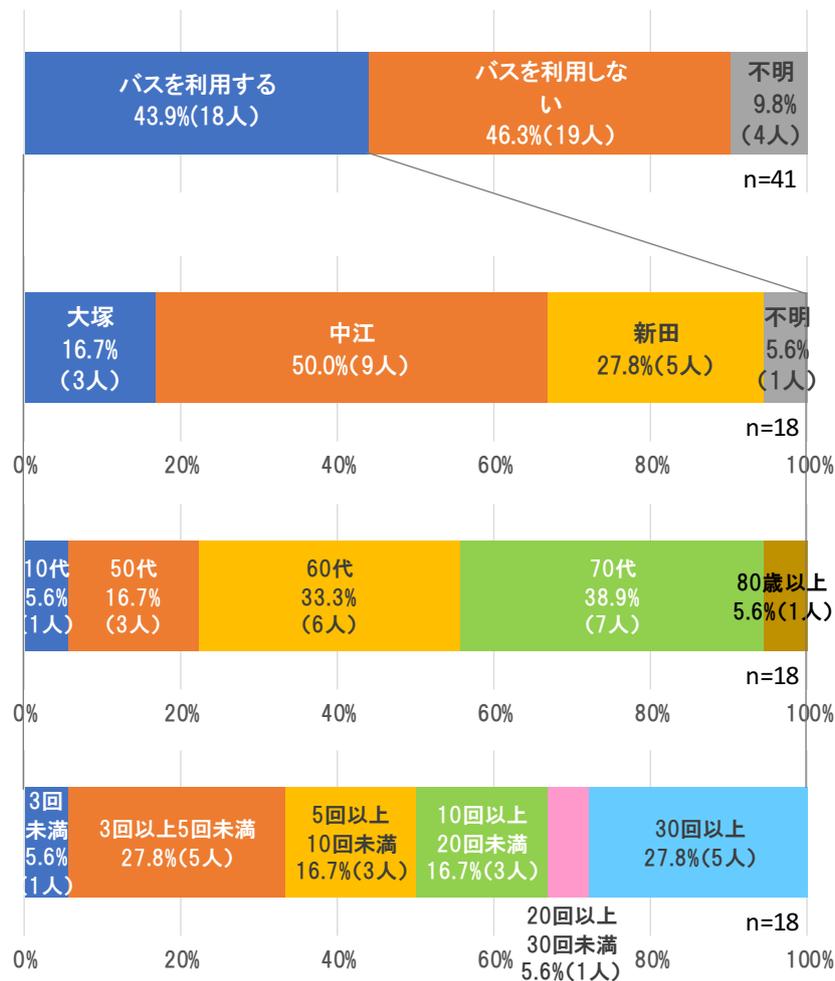
【新ルートを利用しない理由】



※前問で「3.利用しない」を選択した人のみ

図 15 新ルートを利用しない理由（複数回答）

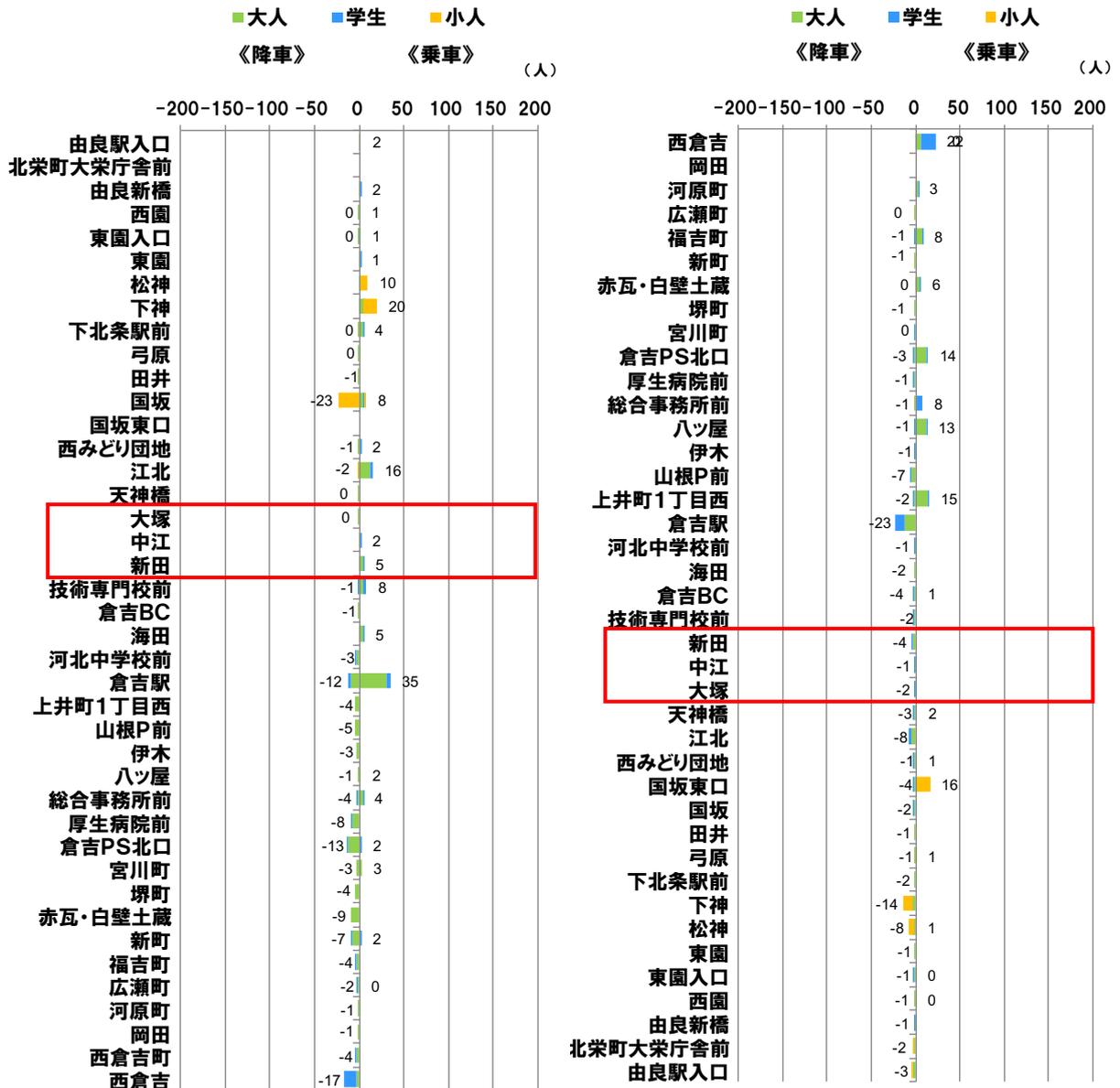
- 図 15 のグラフで「現状ルート『大塚』～『新田』間のバス停を利用しており不便になるから」と回答された方（69.5%、41人）を細かく分析すると、以下ようになる。
- 「不便になる」と回答された方のうち、実際にバスを利用しているのは43.9%（18人）で、その内訳は「中江：50.0%（9人）」「新田：27.8%（5人）」「大塚：16.7%（3人）」の順となっている。
- 「不便になる」と回答された方うち、実際にバスを利用している年代は「70代：38.9%（7人）」「60代：33.3%（6人）」「50代16.7%（3人）」「10代：5.6%（1人）」「80歳以上：5.6%（1人）」の順となっている。
- 18人のバスの1か月当りの利用頻度（片道を1回とカウント）は、「3回以上5回未満」と「30回以上」が27.8%（5人）、「5回以上10回未満」と「10回以上20回未満」が16.7%（3人）、「3回未満」と「20回以上30回未満」が5.6%（1人）となっている。



※回数は片道を1回とし、月に何回利用するかを聞いた。

図 16 アンケートで「不便になるから利用しない」と回答した方の詳細分析

○バス停ごとの乗降状況（H23年～H27年平均値）をみると、運行ルート変更により影響を受ける「大塚」「中江」「新田」での対象時間帯における乗車・降車数は1日当たり6人程度みられることから、再編を検討する際には利用者への説明・理解が必要となる。



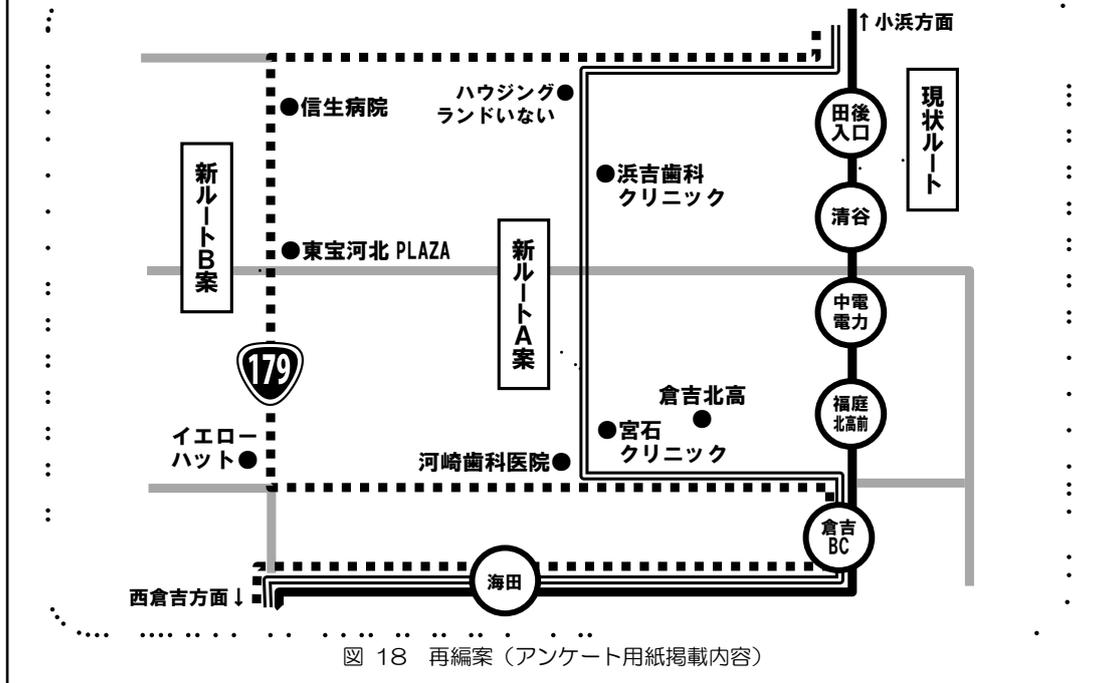
《上り》 由良駅入口⇒西倉吉

《下り》 西倉吉⇒由良駅入口

図 17 北条線 バス停別乗降者数（日） ※H23年度～H27年度の平均値

②橋津線

問1：橋津線について、9時～14時の時間帯の便を中心に、個人病院や商業施設等が沿線に集積している倉吉北高校西側の道（A案）または国道179号を通るルート（B案）への変更を検討しています。このことについてお聞かせください。（下図参照）



【利用意向】

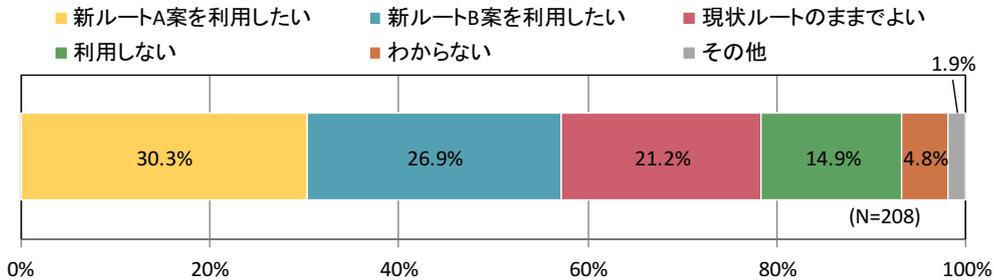
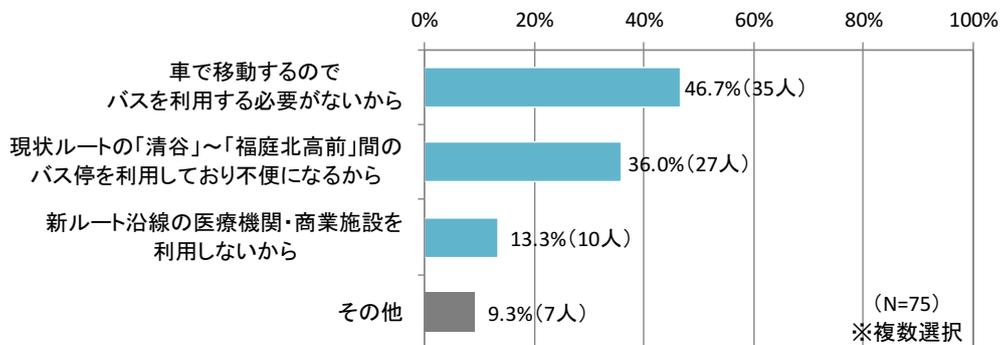


図 19 利用意向グラフ

【新ルートを利用しない理由】



※前問で「3.現状ルートのままでよい」「4.利用しない」を選択した人のみ

図 20 新ルートを利用しない理由（複数回答）

- 図 17 のグラフで「現状ルート『清谷』～『福庭北高前』間のバス停を利用しており不便になるから」と回答された方（36.0%、27 人）の細かい分析は以下ようになる。
- 「不便になる」と回答された方のうち、実際にバスを利用しているのは 74.1%（20 人）で、その内訳は「清谷：80.0%（16 人）」「宇谷：5.0%（1 人）」「宇野：5.0%（1 人）」「不明（湯梨浜町内在住者）10.0%（2 人）」の順となっている。
- 「不便になる」と回答された方うち、実際にバスを利用している年代は「80 歳以上：35.0%（7 人）」「60代：30.0%（6 人）」「70代：20.0%（4 人）」「40代 5.0%（1 人）」「50代：5.0%（1 人）」の順となっている。
- 20 人のバスの 1 か月当りの利用頻度（片道を 1 回とカウント）は、「30 回以上」が 40.0%（8 人）、「5 回以上 10 回未満」が 20.0%（4 人）、「20 回以上 30 回未満」が 15.0%（3 人）、「10 回以上 20 回未満」と「3 回未満」が 10.0%（2 人）、「3 回以上 5 回未満」が 5.0%（1 人）となっている。

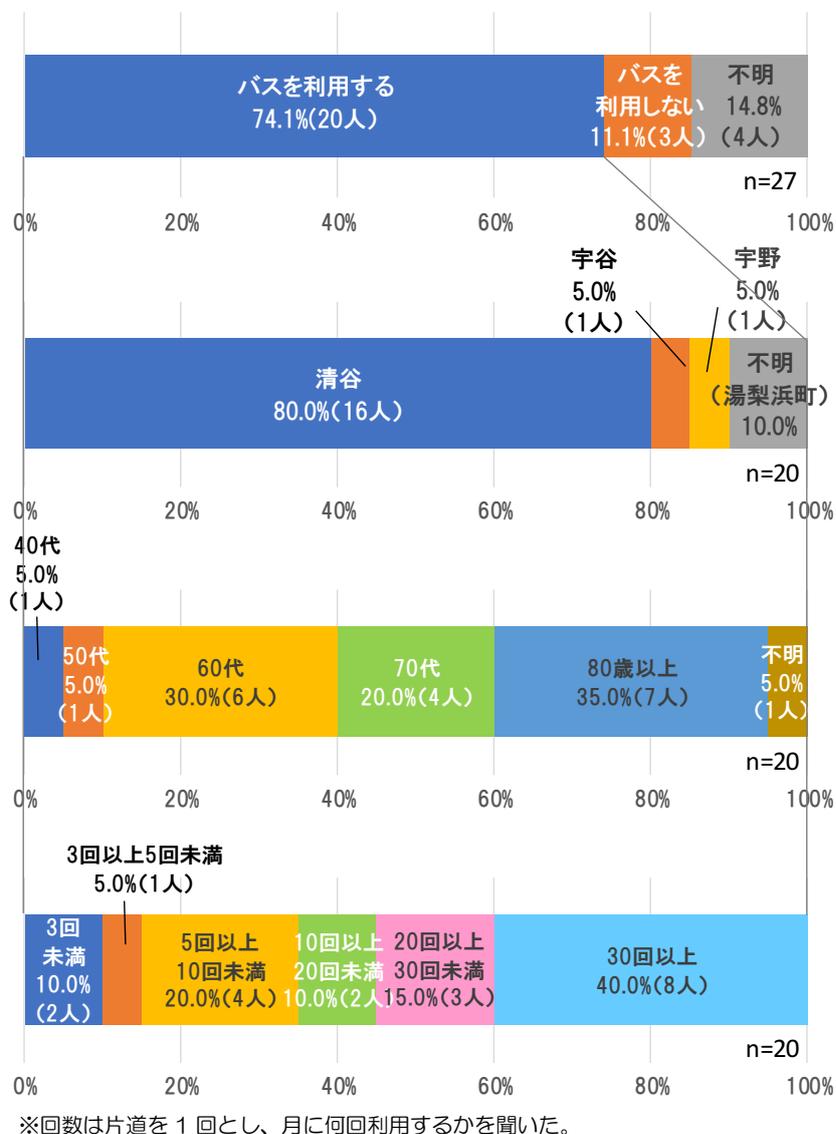


図 21 アンケート詳細分析

○バス停ごとの乗降状況（H23年～H27年平均値）をみると、運行ルート変更により影響を受ける「清谷」「福庭北（中電電力前）」「倉吉北高前（福庭北高前）」での対象時間帯における乗車・降車数は1日当たり6人程度みられることから、再編を検討する際には利用者への説明・理解が必要となる。

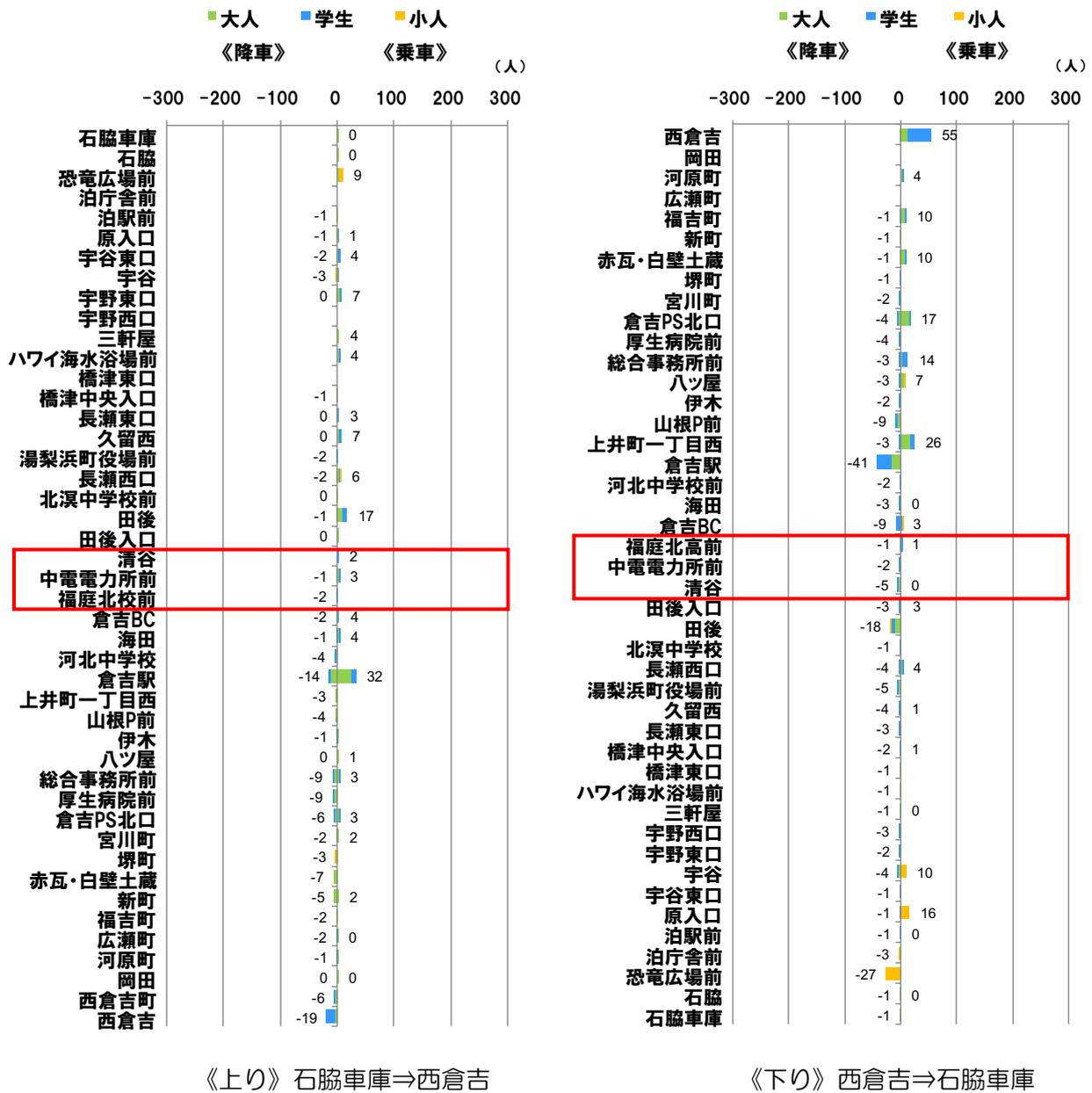
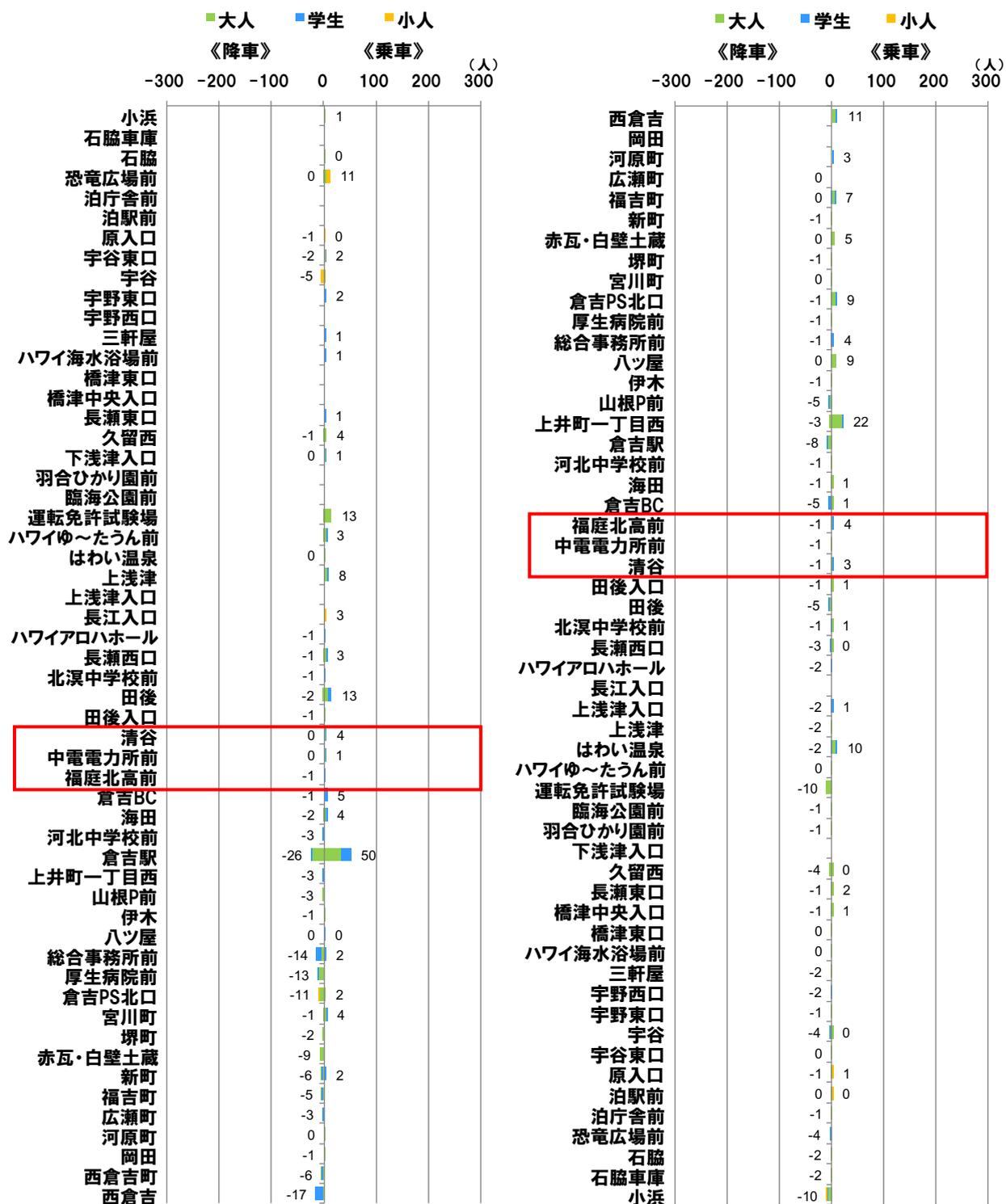


図 22 橋津線（石脇車庫～湯梨浜町役場前～西倉吉）バス停別乗降者数（日）※H23年度～H27年度の平均値



《上り》 小浜⇒西倉吉

《下り》 西倉吉⇒小浜

図 23 橋津線（石脇車庫～はわい温泉～西倉吉）バス停別乗降者数（日）※H23年度～H27年度の平均値

(3) 橋津線・北条線のルート変更案

① 時間帯と対象路線

○運行時間帯としては、バス利用者の利用が見込まれる河北地域の商業施設の営業時間を考慮し9:30～14:00間を想定する。

○この時間帯の橋津線・北条線は以下のとおりであり、これらのダイヤから選択する。

表 13 河北地域の主な商業施設等の営業時間

主な施設名	営業時間
西松屋	10:00～20:00
100 満ボルト	10:00～20:00
ユニクロ	11:00～20:00 (平日) 11:00～20:00 (土日祝日)
TSUTAYA	9:00～24:00
しまむら	10:00～19:00
いない	7:30～20:00
東宝河北プラザ	9:30～22:00
シューズ愛ランド	10:00～22:00

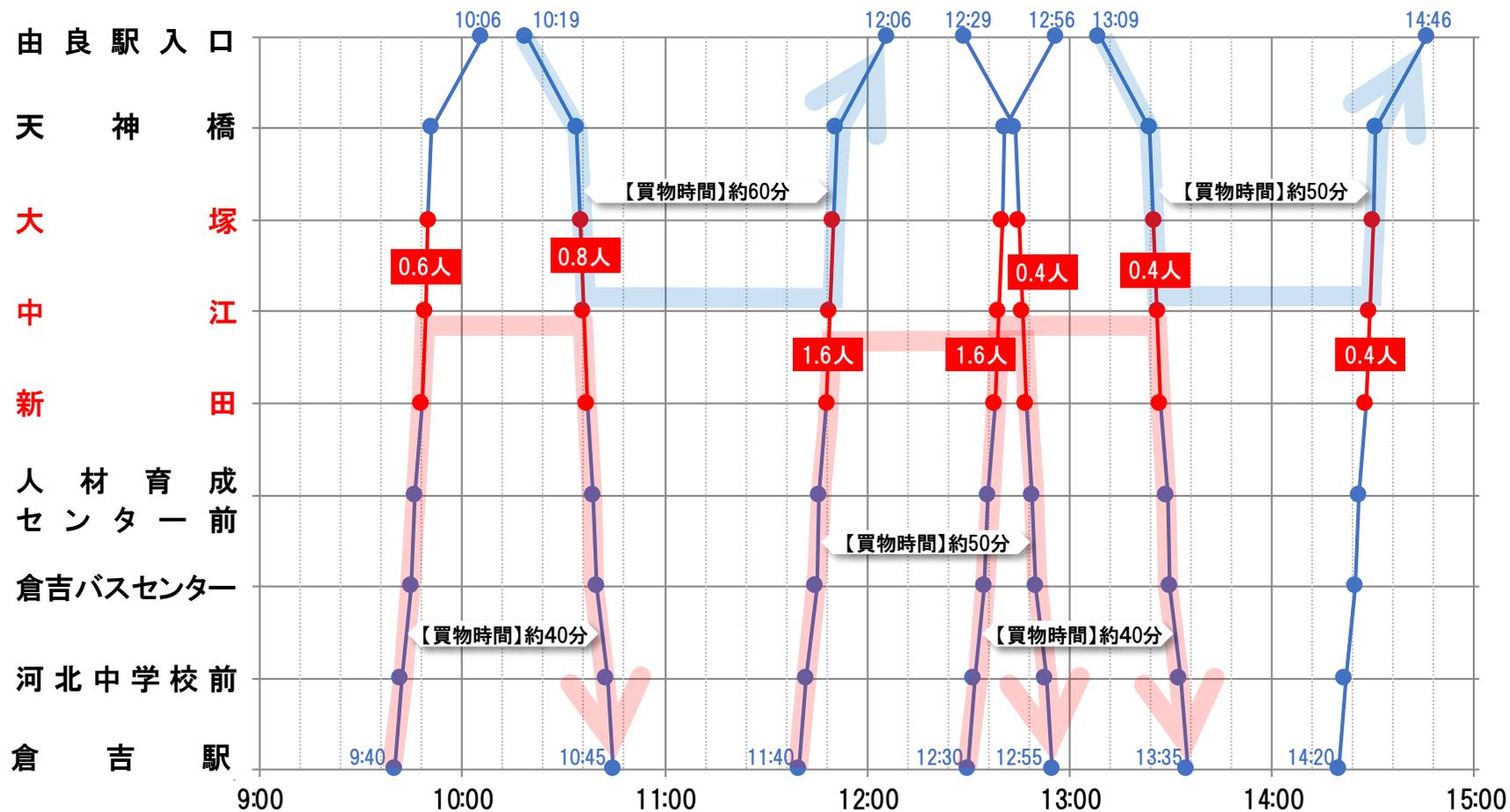
医療機関	診察時間
信生病院	8:00～11:30/13:30～16:30 (月～金曜日) 8:00～11:50 (土曜日)

表 14 橋津線・北条線の再編対象ダイヤ

方向	橋津線		北条線	
	石脇車庫	倉吉駅	由良駅入口	倉吉駅
上り	10:27	→ 11:00	10:19	→ 10:45
	10:58	→ 11:40	12:29	→ 12:55
	12:08	→ 12:50	13:09	→ 13:35
	12:47	→ 13:20	-	→ -
下り	倉吉駅	石脇車庫	倉吉駅	由良駅入口
	10:10	→ 10:38	9:40	→ 10:06
	11:00	→ 11:28	11:40	→ 12:06
	12:00	→ 12:37	12:30	→ 12:56
	12:50	→ 13:18	(14:20	→ 14:46)

※色付きのセルは橋津線「清谷」「福庭北」「倉吉北高前」及び北条線「大塚」「中江」「新田」のバス停での乗降が多いダイヤ。

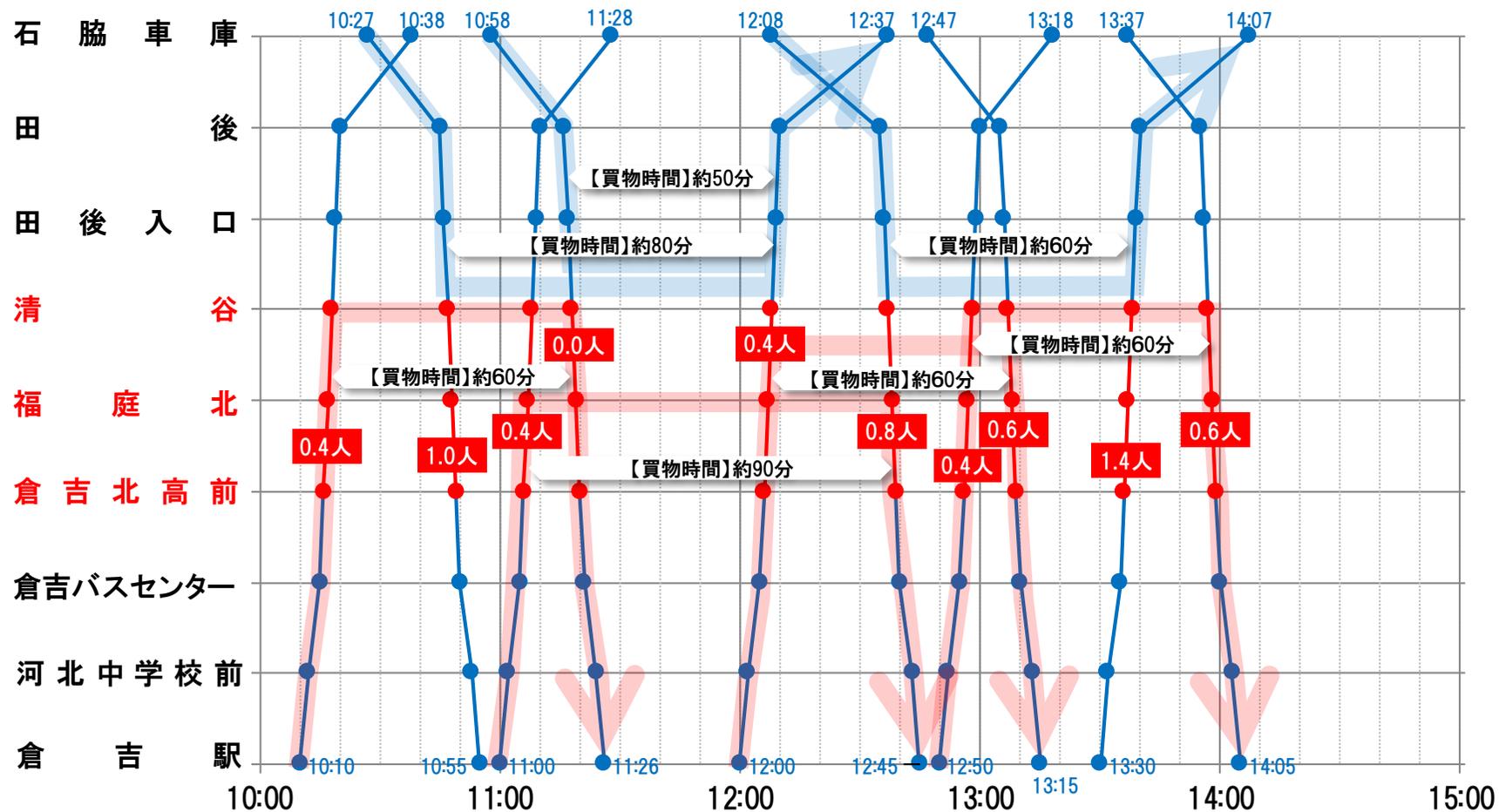
○対象路線を全て河北地域経由にすれば北条線を利用して河北地域で買物することは可能だが、「大塚」「中江」「新田」のバス利用者を考慮してダイヤを絞り込む必要がある。



※赤い四角の中の数字は「大塚～新田」間での乗降者数の平均値(H23～H27年度) ※バスの時刻はH27年度以降ダイヤ改正が行われており、現状のダイヤとは一致しない。

図 24 北条線山ダイヤ(現状)

○対象路線を全て河北地域経由にすれば橋津線を利用して河北地域で買物することは可能だが、「清谷」「福庭北」「倉吉北高前」の利用者を考慮してダイヤを絞り込む必要がある。



※赤い四角の中の数字は「清谷～倉吉北高前」間での乗降者数の平均値(H23～H27年度) ※バスの時刻はH27年度以降ダイヤ改正が行われており、現状のダイヤとは一致しない。

図 25 橋津線山ダイヤ(現状)

(4) 倉吉駅以南の路線のルート変更案について

○倉吉駅以南を主に運行し、系統キロ数の短い路線(市内線・パークスクエア線等)の延伸による河北地域への乗り入れについても検討したが、運行時間が大幅に伸び交番に影響することから、ドライバー不足の現状では導入が困難と判断した。



図 26 倉吉駅以南の路線の運行ルート案

4 病院と商業施設間の移動ダイヤの改善

- 高齢者の場合は、病院の午後診療を除くと、朝8時～9時頃に病院に行き、10時～11時頃に病院から商業施設等へ移動して買い物をし、お昼前後に帰宅するケースが多い。
- 高齢者は朝の通院が終わると商業施設で買物し、その後お昼前後に帰宅するという行動パターンが多い。この時間帯に医療機関と商業施設を結ぶダイヤを確保することで、通院・買物の利便性向上を図る。

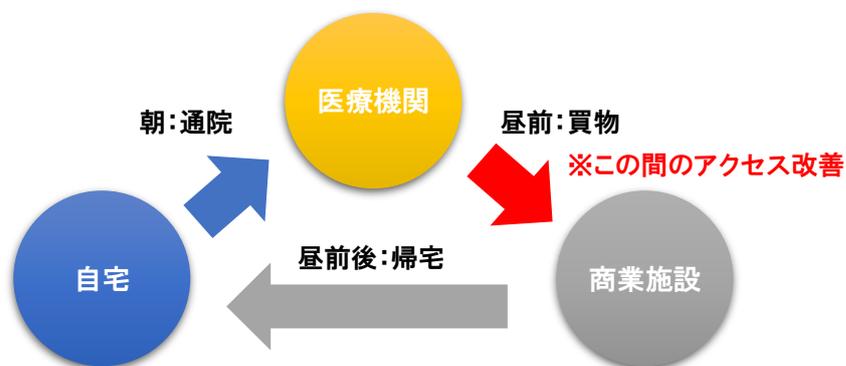


図 27 高齢者の行動パターン

事業1-3 倉吉市中心市街地内移動の利便性向上

5 倉吉未来中心周辺へのアクセス利便性の改善

○倉吉パークスクエア隣接地に県立美術館の整備が予定されており、公共交通を利用したアクセス利便性の向上が求められている。

○倉吉駅から「倉吉パークスクエア北口」、「赤瓦・白壁土蔵」バス停を經由し「西倉吉」に至るルートの一部を、「倉吉駅」から「倉吉パークスクエア」、「市役所打吹公園入口」、「白壁土蔵群前」を經由し、西倉吉に至るルートへと変更することを検討する。

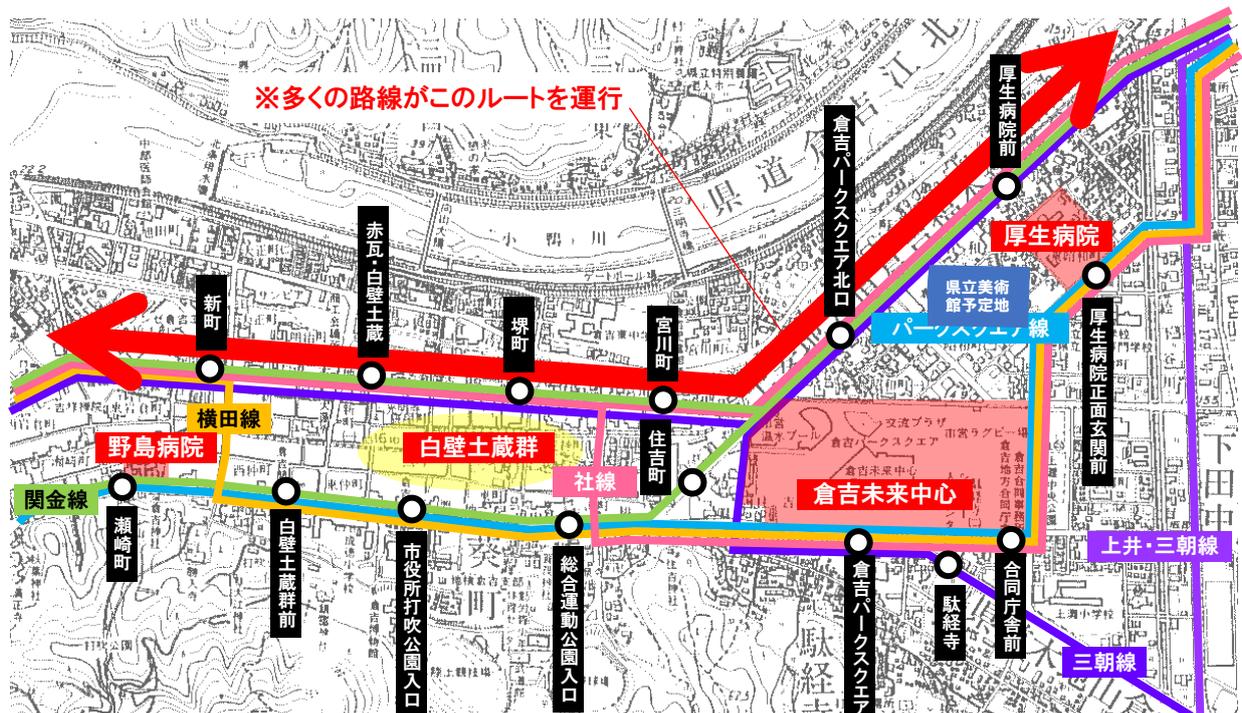


図 28 倉吉未来中心（倉吉パークスクエア）と周辺を運行するバス路線

表 15 ルート別便数の比較（平日運行）

平日	路線名	宮川町⇄新町		合同庁舎前⇄パークスクエア	
		倉吉駅方面行	西倉吉方面行	倉吉駅方面行	西倉吉方面行
日本交通	関金線（関金バスセンター）	7	6	-	-
	関金線（明高）	9	9	-	-
	関金線（山口）	5	5	-	-
	パークスクエア線	-	-	5	5
	広瀬線	-	-	8	8
	市内線	3	2	-	-
	橋津線	16	17	-	-
	松崎・北方線	7	7	-	-
	北条線	9	9	-	-
	計	56	55	13	13
日ノ丸自動車	横田線	-	-	3	3
	社線	3	4	7	6
	北谷線	6	5	-	-
	高城線	7	8	-	-
	栄線	3	4	-	-
	三朝町	13	11	-	-
	穴鴨線	4	4	-	-
	赤碓線	14	14	-	-
	計	50	50	10	9
	合計	105	105	23	22

(1) 白壁土蔵群～倉吉パークスクエア間のアクセス改善

○白壁土蔵群～倉吉パークスクエア間の観光移動が発生する時間帯としては、11時～15時頃が想定される。

○現状では12時～14時台の便数が少なく、食事を済ませた後の移動利便性に劣るため、この時間帯のダイヤ増便を検討する。

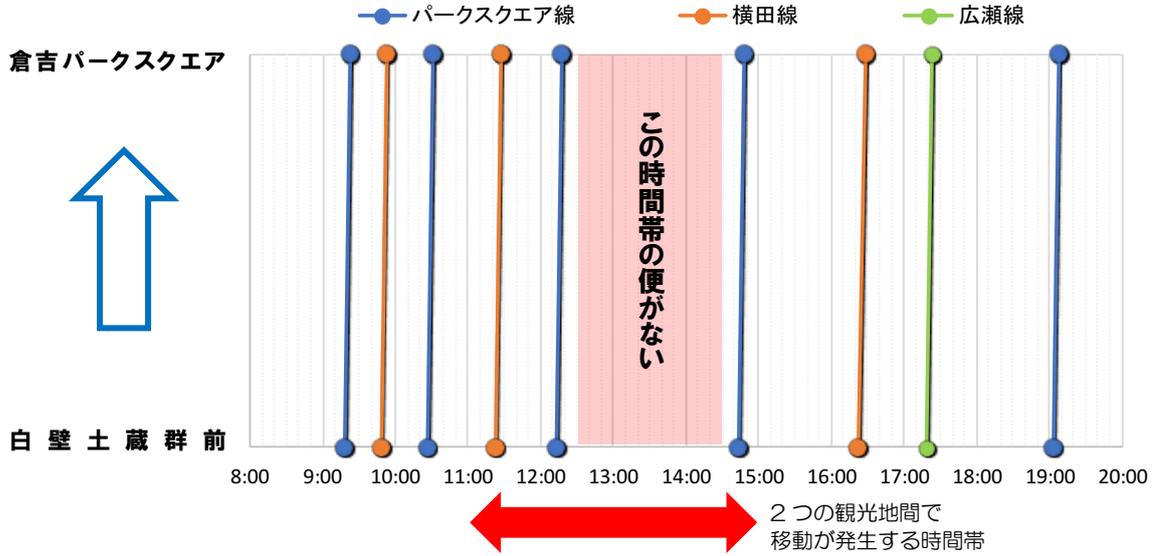


図 29 白壁土蔵群⇒倉吉パークスクエアの山ダイヤ

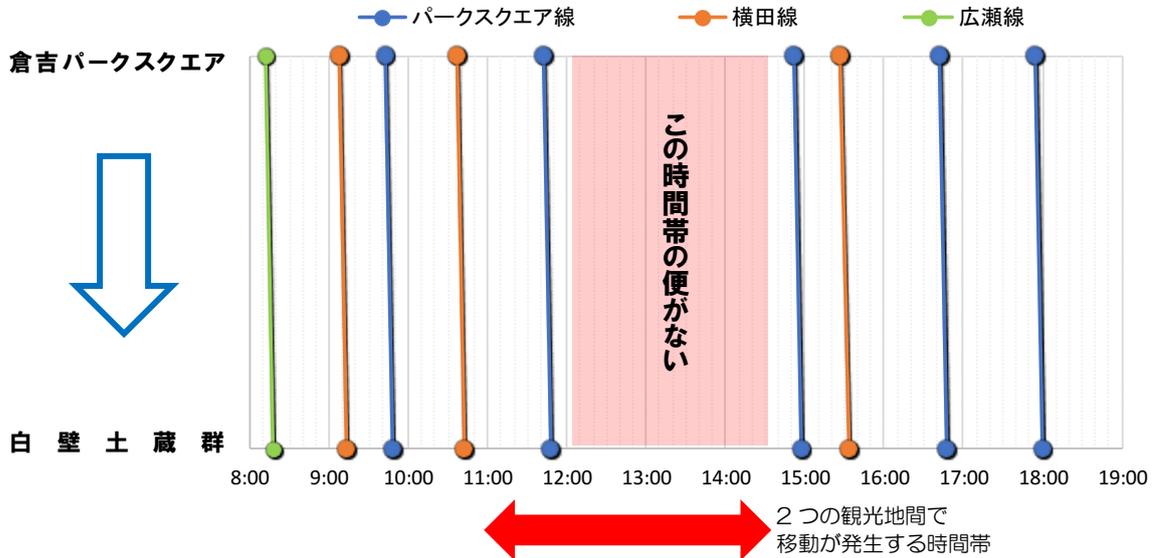


図 30 倉吉パークスクエア⇒白壁土蔵群の山ダイヤ

6 医療機関へのアクセス利便性の改善

(1) 厚生病院へのアクセス改善

①現状

- 厚生病院の最寄りには、病院の北側にある「厚生病院前」バス停と「厚生病院正面玄関前」の2つのバス停があるが、「厚生病院前」バス停から病院までは180m程度の距離があり、高齢者にとっては「厚生病院正面玄関前」での下車が望ましい。
- 現状で「厚生病院正面玄関前」で停車する路線は日本交通の「パークスクエア線」「広瀬線」と日ノ丸自動車の「社線」「横田線」である。

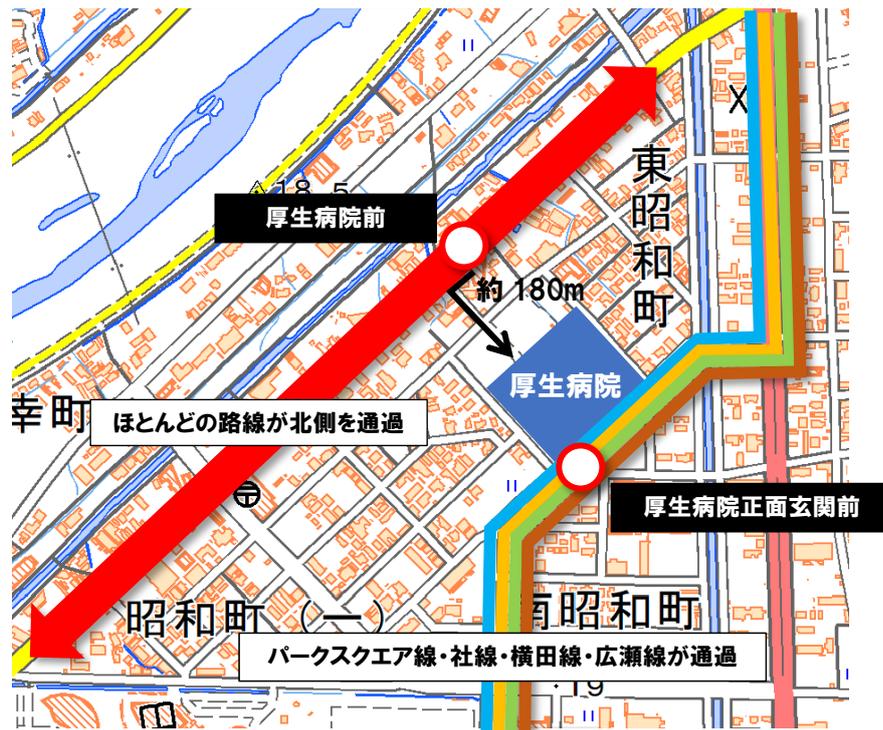


図 31 厚生病院周辺のバス停とバス路線の状況

表 16 「厚生病院玄関前」バス停の時刻表

倉吉駅方面行		西倉吉方面行	
9:08	社線	8:08	広瀬線
9:27	パークスクエア線	9:03	横田線
9:57	横田線	9:38	パークスクエア線
10:35	パークスクエア線	11:38	パークスクエア線
11:08	社線	10:03	社線
11:32	横田線	10:33	横田線
12:22	パークスクエア線	12:03	社線
12:58	社線	13:23	社線
14:18	社線	14:48	パークスクエア線
14:52	パークスクエア線	15:13	社線
16:08	社線	15:23	横田線
16:32	横田線	16:43	社線
17:27	広瀬線	16:58	パークスクエア線
17:38	社線	17:41	社線
18:38	社線	17:50	パークスクエア線
19:12	パークスクエア線	-	-

②再編の考え方

- 必要時間帯/高齢者の行動パターンから8時～11時
- 上記の時間帯について、病院北側を運行している路線の一部を厚生病院正面玄関側の路線に変更することを検討する。

(2) 野島病院へのアクセスの改善

①現状

- 野島病院の最寄りバス停は「瀬崎町」バス停となるが、このバス停を通過する路線は日本交通の「広瀬線」と「パークスクエア線」の2路線あるが、8時台、10時台、13時台の便が少ない。

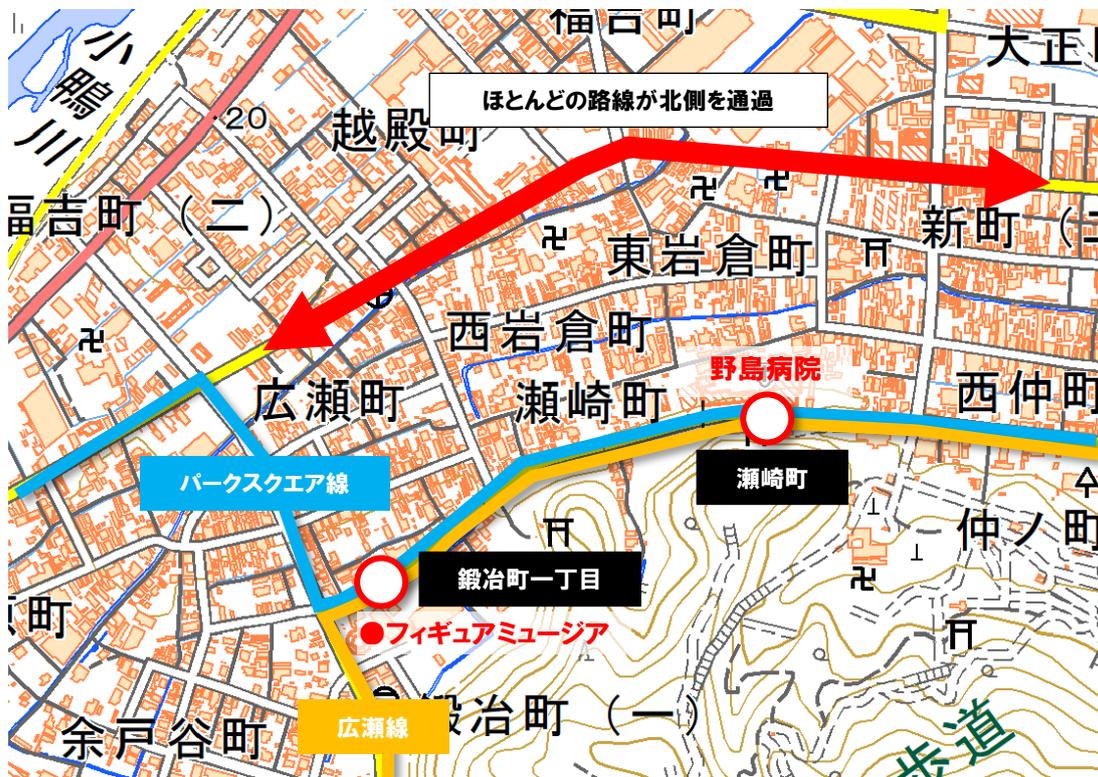


図 32 野島病院・フィギュアミュージアム周辺バス停とバス路線の状況

表 17 「瀬崎町」バス停の時刻表

倉吉駅方面行		西倉吉方面行	
7:12	広瀬線	8:19	広瀬線
9:00	広瀬線	9:03	広瀬線
9:17	パークスクエア線	9:49	パークスクエア線
9:47	広瀬線	11:23	広瀬線
10:25	パークスクエア線	11:49	パークスクエア線
12:12	パークスクエア線	12:33	広瀬線
12:47	広瀬線	14:59	パークスクエア線
13:32	広瀬線	15:23	広瀬線
14:42	パークスクエア線	16:33	広瀬線
16:07	広瀬線	17:09	パークスクエア線
17:17	広瀬線	17:31	広瀬線
18:12	広瀬線	18:01	パークスクエア線
19:02	パークスクエア線	18:33	広瀬線

②再編の考え方

- 北側を多く運行する既存路線の一部を、通院時間帯（8時～11時）に限り瀬崎町経由とする。
- 併せてフィギュアミュージアムの最寄りバス停である「鍛冶町一丁目」を経由させることで、観光利用促進にも寄与する運行を行う。
- 但し、「瀬崎町」バス停の上り方面は危険な環境にあり、待合環境整備が望まれる。

(3) 信生病院へのアクセスの改善

①現状

- 信生病院は河北地域に位置し、近くにバス路線がないため、現状では自家用車等で移動するしか通院手段がない。

②再編の考え方

- 北条線や橋津線のルート変更による河北地域への乗り入れが実現すれば、倉吉駅～信生病院間のアクセス改善が期待できる。
- そのためには、買物時間帯だけでなく通院時間も考慮したルート変更を行う必要がある。

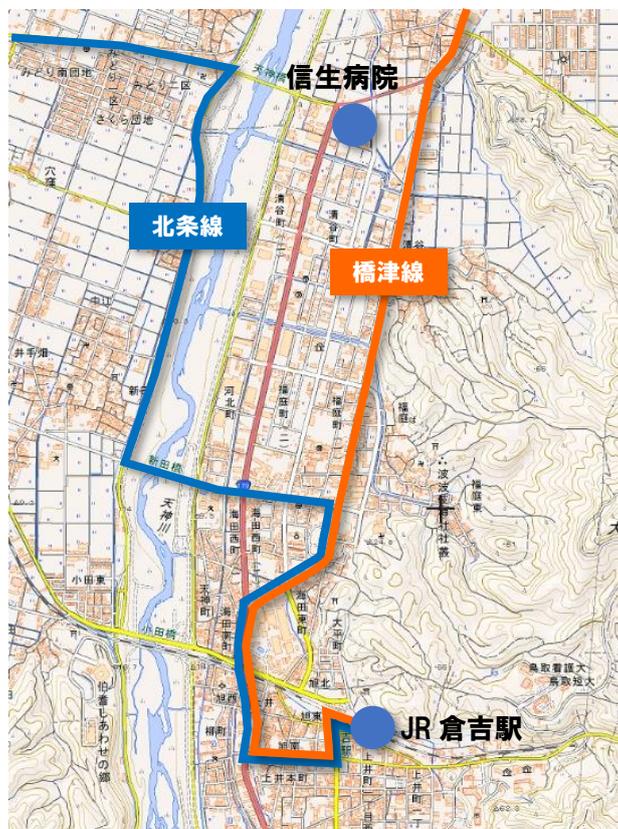


図 33 信生病院と既存バス路線のルート

事業1-4 観光移動の利便性向上

7 観光地間をつなぐ路線・ダイヤの改善

(1) 北条線・赤碓線の「青山剛昌ふるさと館」への立ち寄り

○現状では、「青山剛昌ふるさと館」へバスは乗入れておらず、JR で来訪した観光客は徒歩で移動していることから、一定の時間帯について、北条線は「青山剛昌ふるさと館」発（現状は「由良駅入口」発）、赤碓線は「青山剛昌ふるさと館」への立ち寄りによって、観光移動の利便性向上を図ることが考えられる。



図 34 現状の運行ルートと「青山剛昌ふるさと館」への立ち寄りルート案

表 18 現状との比較

西倉古工業団地内ルート	距離
延伸距離	1.8 km
延長時間（時速 30 km で算出）	約 4 分

①考え方

○ヒアリング結果から「青山剛昌ふるさと館」の入込のピークは 11 時台と 14 時台であることから、この時間帯の立ち寄りを検討する。

表 19 「青山剛昌ふるさと館」への立ち寄りダイヤ候補

路線名	日	方向	バス停名	11 時台	14 時台	
赤碓線	平日 (休日)	上り	赤碓駅	↓	10:39	13:41
			由良駅入口	↓	11:05	14:06
			倉吉駅	↓	11:40	14:40
		下り	倉吉駅	↓	11:05	14:35
			由良駅入口	↓	11:39	15:09
			赤碓駅	↓	12:04	15:34
北条線	平日 休日	上り	由良駅入口	↓	12:29	15:19
			倉吉駅	↓	12:55	15:45
			西倉吉	↓	13:21	16:11
		下り	西倉吉	↓	11:17	13:57
			倉吉駅	↓	11:35	14:15
			由良駅入口	↓	12:06	14:46

(2) 三朝線と上井・三朝線の接続

- 「白壁土蔵群・赤瓦」から「三朝温泉」に行く三朝線と、温泉から「三徳山」に行く上井・三朝線の接続は、上り方面は比較的よいが下り方面で待ち時間が1時間程度発生するダイヤとなっている。
- 「白壁土蔵群・赤瓦」と「三徳山」を1日で同時に回る観光行動は少ないが、三朝町の路線再編の中で同時に検討する。

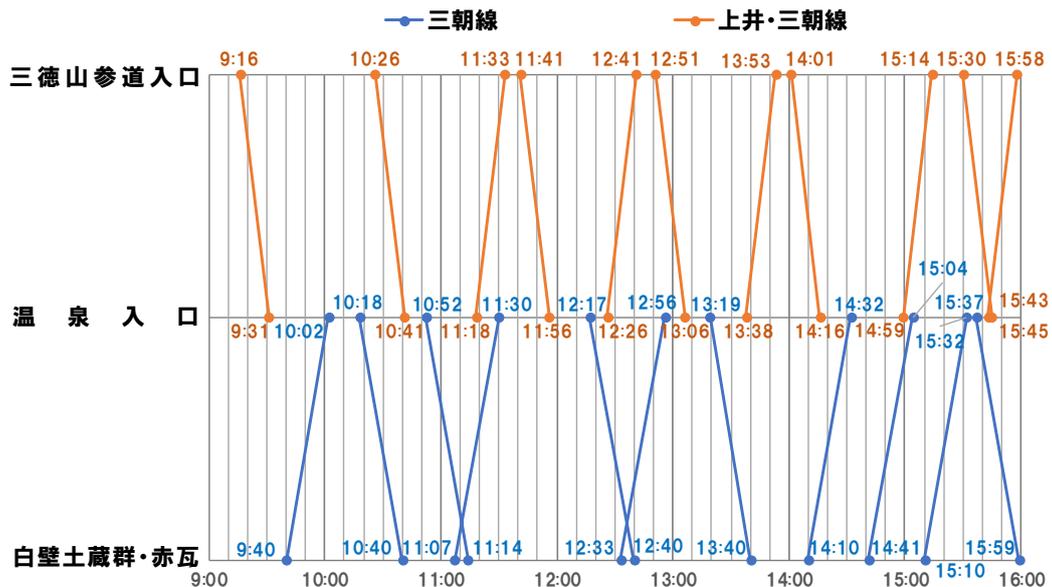


図 35 白壁土蔵群・赤瓦～三徳山間のバスの接続状況

(3) 観光地間を結ぶ路線の充実

- 倉吉市内の「フィギュアミュージアム」「白壁土蔵群・赤瓦」「倉吉パークスクエア（鳥取二十世紀梨記念館）」といった観光地と、三朝町の三朝温泉を結ぶ路線が望まれる。
- それらをつなぐため、通勤通学時間帯を除く観光客が移動する時間帯について、日ノ丸自動車の「三朝線」または「上井・三朝線」のルートを下記のように変更することが可能かどうか調査し、観光移動の利便性向上を検討する。
 - ・生田車庫発の三朝線を倉吉駅発とし、上井・三朝線に近い系統へ変更。
 - ・生田車庫発の三朝線を市役所経由三朝行きとし、卸団地は上井・三朝線でカバー。
 - ・上井・三朝線を鍛冶町一丁目まで延伸。

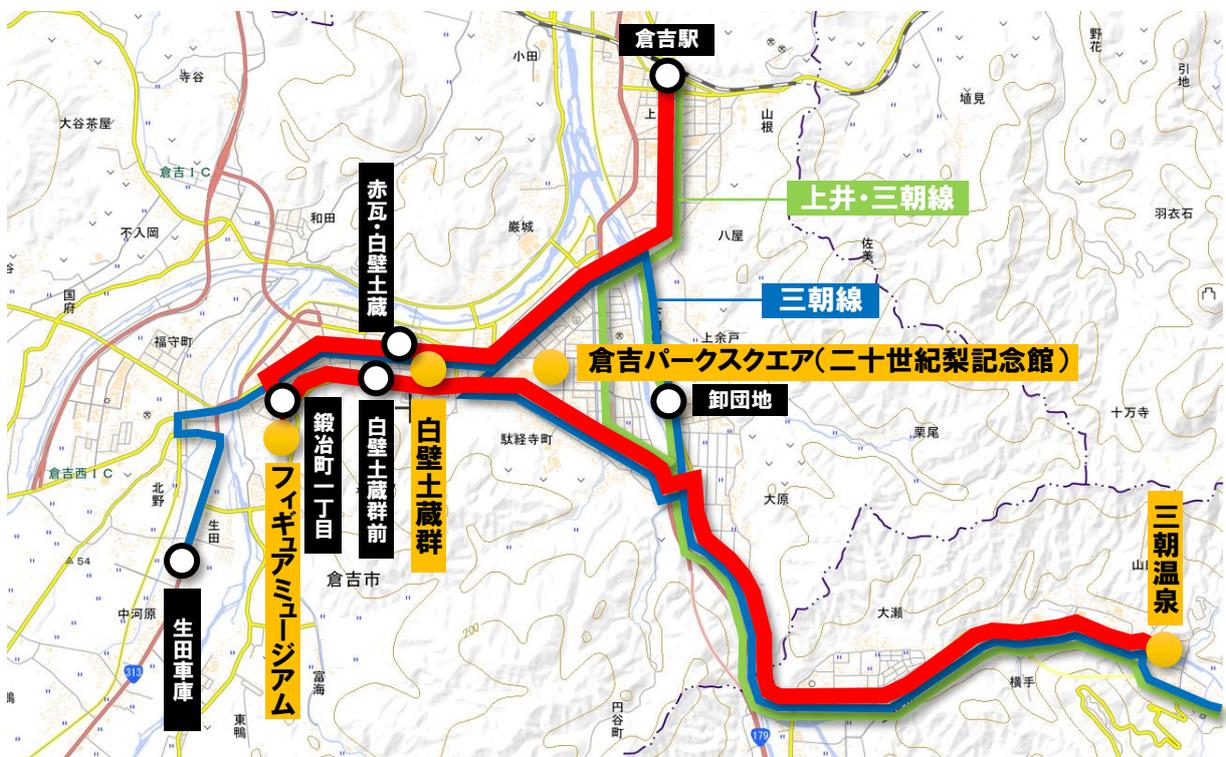


図 36 観光地を結ぶバス路線イメージ

8 観光客向けパスの発行・PR

- 「湯～遊 2 デーパス」は、現在倉吉市、三朝町、湯梨浜町で実施しているが、エリア拡大について検討する。

9 インバウンド対応の多言語化

- 観光関係ヒアリング結果等から多言語化が必要な箇所として以下のような項目が挙げられている。

- ・観光地とバス停との関係を示す地図
- ・路線バスの乗り方
- ・「湯～遊2デーバス」のチラシ
- ・観光関連のホームページ
- ・観光案内所、旅館
- ・バス停

10 地域イベントとの連携

○地域イベント PR チラシを使い、公共交通利用促進の PR を各自治体単位でイベント主催者に依頼した。

FAX 0858-24-5015
E-mail info@kijiyu.jp

旧国鉄倉吉線廃線跡トレッキングオープンデー2018

参加申込書

参加代表者 氏名	フリガナ 氏名
代表者住所 (〒 -)	
連絡先	自宅 携帯電話 FAX番号
同行者氏名	フリガナ 氏名
	フリガナ 氏名
参加希望日程	月 日

■FAXまたはメールにてお申し込みください。受付完了後、受付票を郵送にて発送させていただきます。
■当日は午前9時より倉吉市役所関金庁舎(倉吉市関金町大鳥居 193-1) 玄関前にて受付開始致します。
■参加費は一人様につき1,000円となります。(※小学生未満は無料。但し保護者同伴を条件とします)
■ご来場の際、マイカー利用の方は倉吉市役所関金庁舎の駐車場をご利用ください。公共交通機関をご利用の場合は下記の日本交通路線バス利用が便利です。
【倉吉駅乗り場 8:40 発 (大河原行) → 「関金温泉」 9:15 着 下車徒歩約 10 分】
【倉吉駅乗り場 9:10 発 (関金バスセンター行) → 「関金庁舎前」 9:48 着 下車徒歩約 1 分】
■ゴール地点からスタート地点へはお客自身での移動となります。徒歩または公共交通機関をご利用下さい。公共交通機関ご利用の場合は泰久寺 12:23 発→関金庁舎前 12:27 着の日本交通路線バス(倉吉駅経由、倉吉バスセンター行)利用が便利です。※泰久寺～関金庁舎前運賃片道 170 円
※各バス時刻は平成 30 年 2 月時点のダイヤ時刻です。ダイヤ改正により時刻が変更となる場合がございます。
■ご記入頂きました個人情報についてはトレッキングに参加された際の傷害保険対応及び当日の連絡等に使用するもので、その他には一切使用致しません。
■参加当日は履きなれた運動靴、動きやすい服装でお越しください。トンネルに入る際のヘルメットと懐中電灯は当協会にて準備、お貸し致します。
■最少催行人員に達しない場合、開催日の 7 日前までに催行中止の連絡をさせていただきます

申込期限：各開催日の 10 日前まで

受付番号 _____ (協会使用欄)

- FAXまたはメールにてお申し込みください。受付完了後、受付票を郵送にて発送させていただきます。
- 当日は午前9時より倉吉市役所関金庁舎(倉吉市関金町大鳥居 193-1) 玄関前にて受付開始致します。
- 参加費はお一人様につき 1,000 円となります。(※小学生未満は無料。但し保護者同伴を条件とします)

■ご来場の際、マイカー利用の方は倉吉市役所関金庁舎の駐車場をご利用ください。公共交通機関をご利用の場合は下記の日本交通路線バス利用が便利です。

【倉吉駅②乗り場 8:40 発 (大河原行) → 「関金温泉」 9:15 着 下車徒歩約 10 分】
【倉吉駅②乗り場 9:10 発 (関金バスセンター行) → 「関金庁舎前」 9:48 着 下車徒歩約 1 分】

■ゴール地点からスタート地点へはお客自身での移動となります。徒歩または公共交通機関をご利用下さい。公共交通機関ご利用の場合は泰久寺 12:23 発→関金庁舎前 12:27 着の日本交通路線バス(倉吉駅経由、倉吉バスセンター行)利用が便利です。※泰久寺～関金庁舎前運賃片道 170 円

※各バス時刻は平成 30 年 2 月時点のダイヤ時刻です。ダイヤ改正により時刻が変更となる場合がございます。

- ご記入頂きました個人情報についてはトレッキングに参加された際の傷害保険対応及び当日の連絡等に使用するもので、その他には一切使用致しません。
- 参加当日は履きなれた運動靴、動きやすい服装でお越しください。トンネルに入る際のヘルメットと懐中電灯は当協会にて準備、お貸し致します。

最少催行人員に達しない場合、開催日の 7 日前までに催行中止の連絡をさせていただきます

図 37 地域イベントと公共交通利用促進との連携(トレッキングオープンデー2018)

倉吉白壁土蔵群 観光案内所

Tourist Information

倉吉市魚町2568 (赤瓦十号館内)
TEL.0859-22-1200
営業/8:30~17:00
※年末年始は10:00~16:00
休/なし

手ぶらで観光！手荷物配送サービス
14時までは手荷物を預けると、宿泊施設へ当日18時までにお届けいたします。
受付時間/8:30~14:00
料金/1,200円(個まで)、3個以上は1個につき600円
期間/過年(お盆・年末年始は取り扱いできません)
その他/
・倉吉市内、三朝温泉、はわい・東郷温泉の宿泊施設に配送いたします。
配達できる荷物の大きさは制限がありますので、詳細は窓口にてご確認ください。

手ぶらで観光！手荷物配送サービス
14時までは手荷物を預けると、宿泊施設へ当日18時までにお届けいたします。
受付時間/8:30~14:00
料金/1,200円(個まで)、3個以上は1個につき600円
期間/過年(お盆・年末年始は取り扱いできません)
その他/
・倉吉市内、三朝温泉、はわい・東郷温泉の宿泊施設に配送いたします。
配達できる荷物の大きさは制限がありますので、詳細は窓口にてご確認ください。

めいっばい満喫！楽しみ方をご紹介！

倉吉

KURAYOSHI

白壁土蔵群の楽しみ方
Perfect Guide

TOTTORI KURAYOSHI

レンタサイクルあります♪
町並みをさくっと回るには自転車がちょうどいい！
白壁土蔵群を起点に、倉吉市内を自転車で観光してみませんか？

貸出時間/8:30~17:00
※年末年始は10:00~16:00
料金/500円/1日(他あり)
台数/5台
その他/
・ご予約は承っておりません。
・貸出当日の返却をお願いします。
・乗車可能身長目安/135cm-
・ヘルメット2個配備あり
(貸出中の場合はご了承下さい)

授乳スペース オムツ替えスペース あります

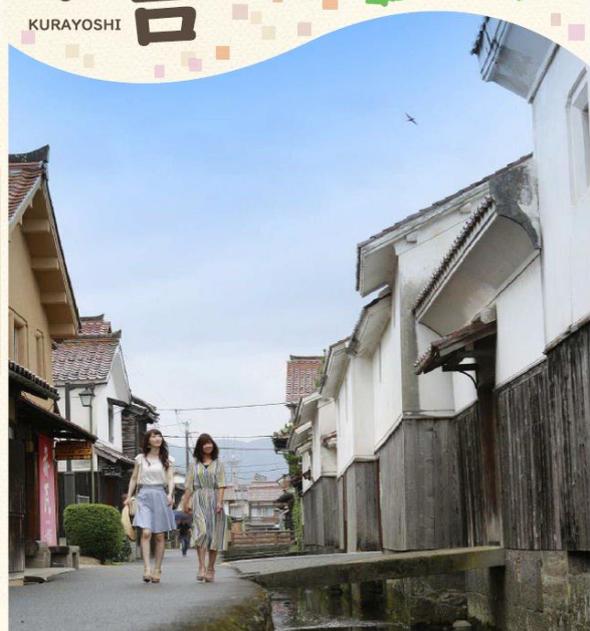
赤ちゃんのための授乳スペースとオムツ替えスペースを設置しております。
完璧に整ったスペースではありませんが、皆様が少しでも快適に観光にお出かけできるように、ご利用希望の方は遠慮なく職員にお申し付け下さい。

JR倉吉駅からのアクセス

路線バス
倉吉駅バスターミナル2番のりば
市内線 赤瓦・白壁土蔵
パークスクエア線 市役所・打吹公園入口
■所要時間 12~15分 ■運賃 230円

タクシー
■所要時間 約10分 ■運賃 1,800円(目安)

倉吉白壁土蔵群周辺マップ



JR倉吉駅からのアクセス

路線バス
倉吉駅バスターミナル2番のりば
市内線 赤瓦・白壁土蔵
パークスクエア線 市役所・打吹公園入口
■所要時間 12~15分 ■運賃 230円

タクシー
■所要時間 約10分 ■運賃 1,800円(目安)

倉吉白壁土蔵群周辺マップ

図 38 地域イベントと公共交通利用促進との連携（倉吉市パンフレット）

事業5-1 効率的な運行形態への再編

11 長大路線の効率化(赤碕線・小河内線・穴鴨線)

(1) 赤碕線

○赤碕線は系統キロが長いうえに運行本数も多いことから実車走行キロが長く、経常欠損額が他の路線に比べ突出して大きくなっている。

○利用の少ない便の見直し、観光利用促進による収支率の向上等を検討していく。

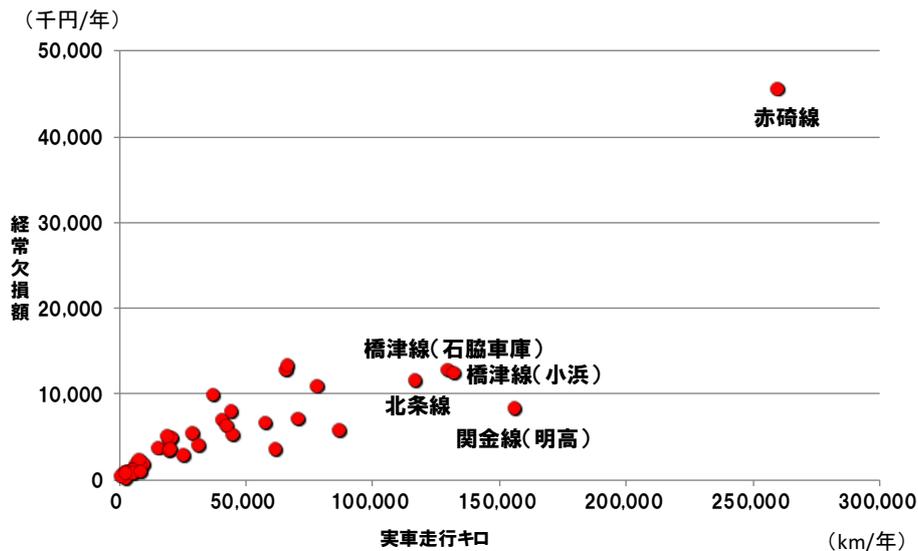


図 39 バス路線の実車走行キロと欠損額との関係

表 20 赤碕線のダイヤ別琴浦町・北栄町～倉吉市間利用者割合

倉吉駅 発時刻	下り					上り					利用者 数合計
	倉吉市⇒琴浦町		倉吉市⇒北栄町		利用者 数合計	琴浦町⇒倉吉市		北栄町⇒倉吉市		利用者 数合計	
	平均 利用者 数	利用者 割合	平均 利用者 数	利用者 割合			平均 利用者 数	利用者 割合	平均 利用者 数		利用者 割合
6:35	3.4	68.0%	0.2	4.0%	3.6	6:44	0.8	5.6%	3.0	20.8%	3.8
7:23	1.0	4.9%	6.4	31.4%	7.4	7:18	1.4	7.6%	5.4	29.3%	6.8
8:35	0.6	5.8%	2.8	26.9%	3.4	7:51	1.8	14.1%	1.4	10.9%	3.2
9:05	0.6	7.5%	2.6	32.5%	3.2	8:39	2.6	22.0%	1.6	13.6%	4.2
10:05	3.2	23.5%	1.8	13.2%	5.0	8:59	1.0	8.5%	1.0	8.5%	2.0
11:05	2.4	22.2%	2.8	25.9%	5.2	9:49	2.4	18.8%	0.4	3.1%	2.8
12:25	2.4	17.9%	2.8	20.9%	5.2	10:39	1.0	9.3%	0.6	5.6%	1.6
13:35	2.8	27.5%	1.2	11.8%	4.0	11:41	1.2	12.5%	1.2	12.5%	2.4
14:35	1.0	9.3%	1.2	11.1%	2.2	12:41	1.4	15.6%	1.4	15.6%	2.8
15:25	1.8	20.5%	0.8	9.1%	2.6	13:41	0.4	8.3%	0.4	8.3%	0.8
16:25	1.0	10.6%	2.0	21.3%	3.0	14:51	0.4	6.9%	1.2	20.7%	1.6
16:55	0.8	4.6%	1.2	6.9%	2.0	15:59	0.4	4.4%	3.8	42.2%	4.2
17:57	1.4	20.6%	0.4	5.9%	1.8	16:49	0.6	5.6%	2.6	24.1%	3.2
19:05	0.2	2.6%	4.6	59.0%	4.8	17:39	3.4	58.6%	0.0	0.0%	3.4

※平均利用者数はH23年～H27年の平均値

※黄色いセルは「青山剛昌ふるさと館」への立ち寄り検討便

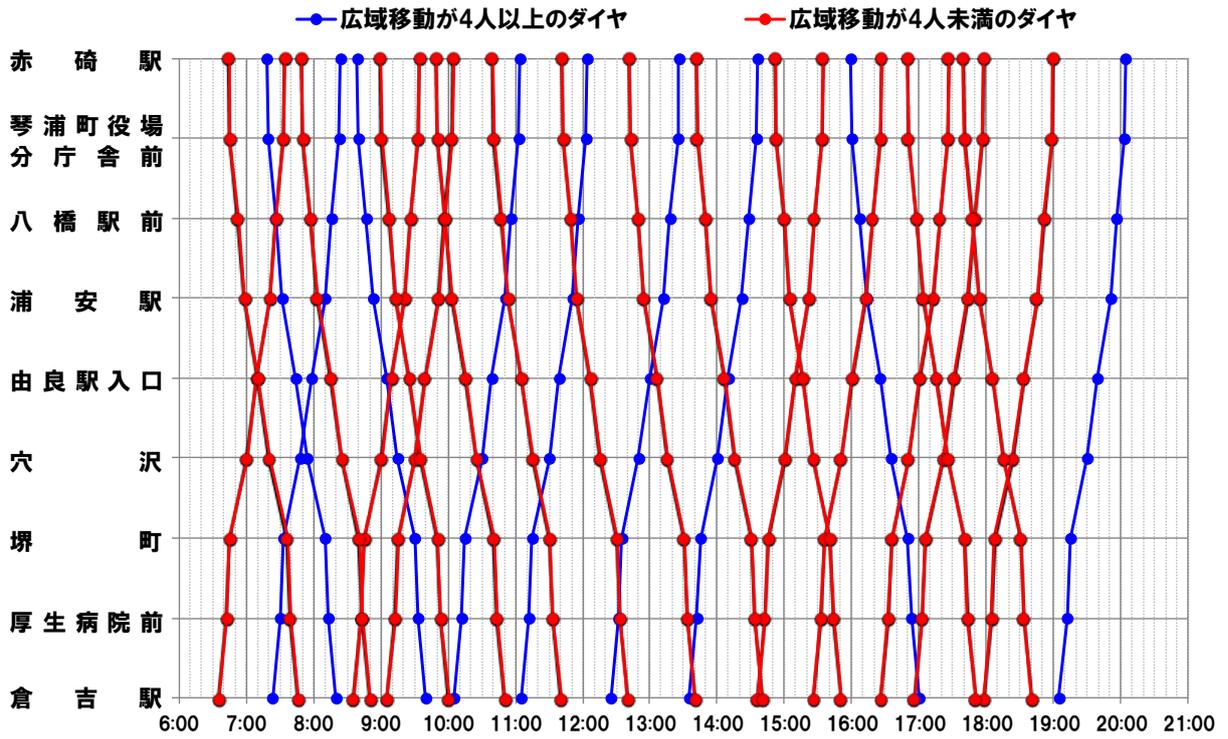


図 40 倉吉市⇄北栄町・琴浦町間の平均利用者数合計が4人未満のダイヤ

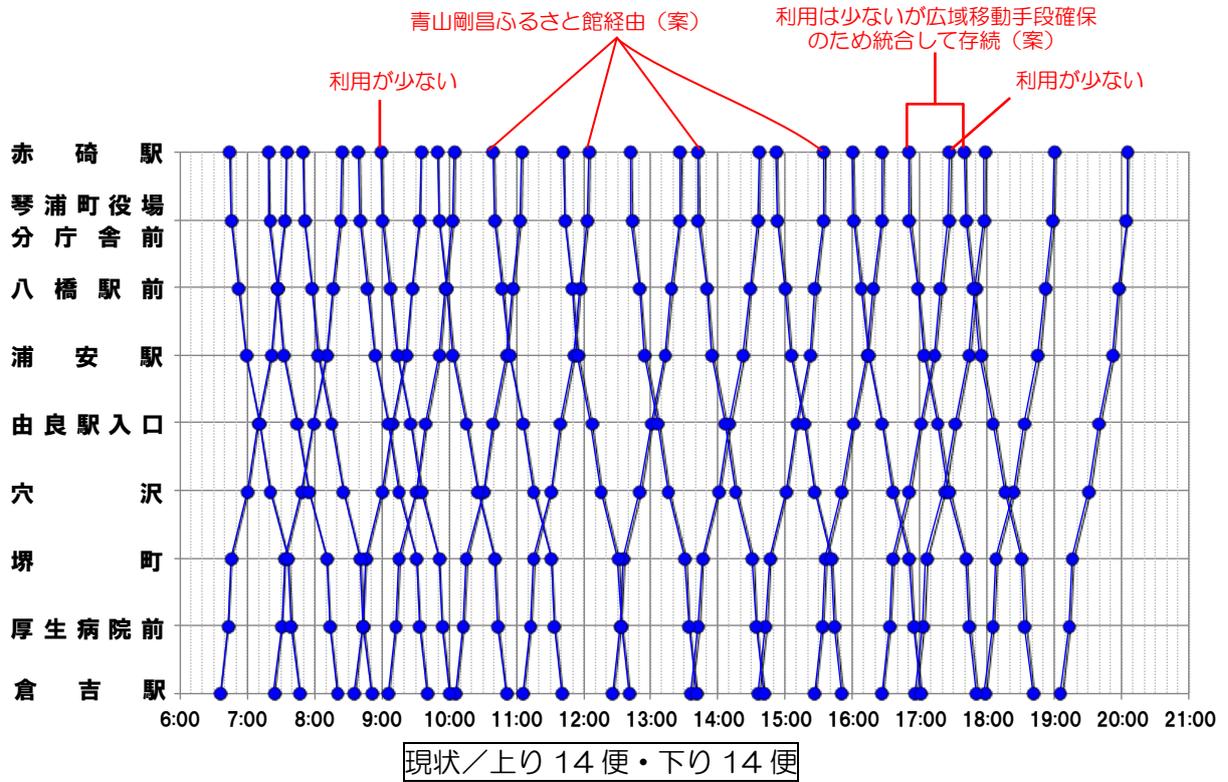


図 41 赤碓線再編案

(2) 三朝町内路線の再編

① 穴鴨線

【現状】

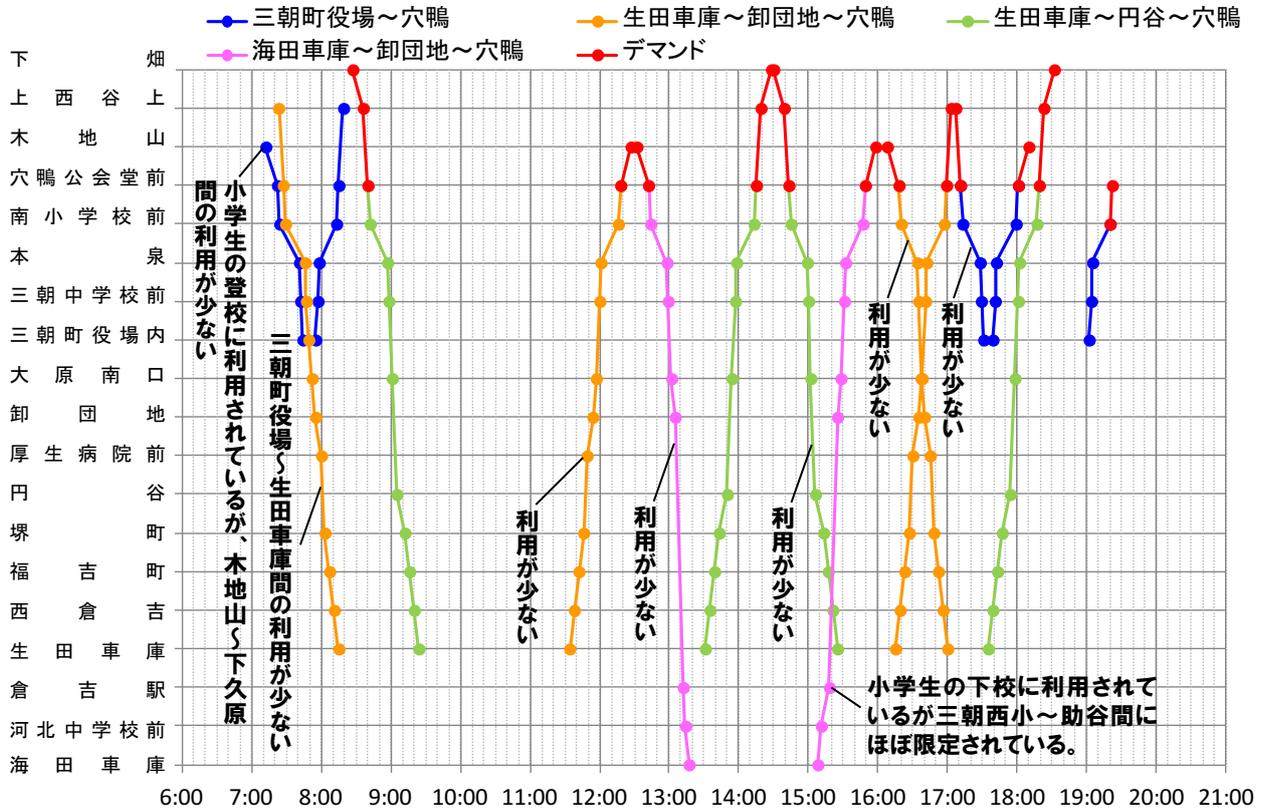


図 42 穴鴨線山ダイヤ (現状)

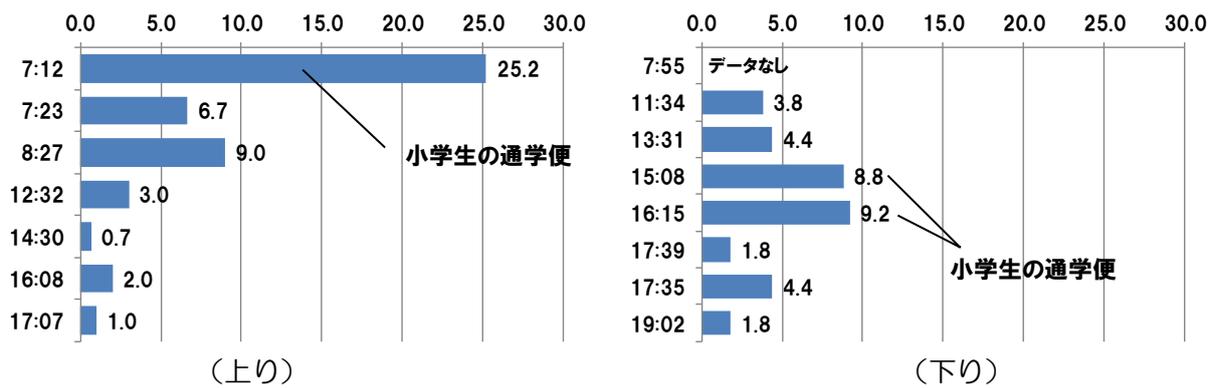


図 43 穴鴨線ダイヤ別利用者数 (H23～27年度 OD 調査結果の平均値)

【課題】

○穴鴨線は7系統あって運行が複雑で、収支率が低い系統が多くみられる。路線の先端部分はデマンド運行で対応しているが、全体的に持続可能な再編が望まれる。

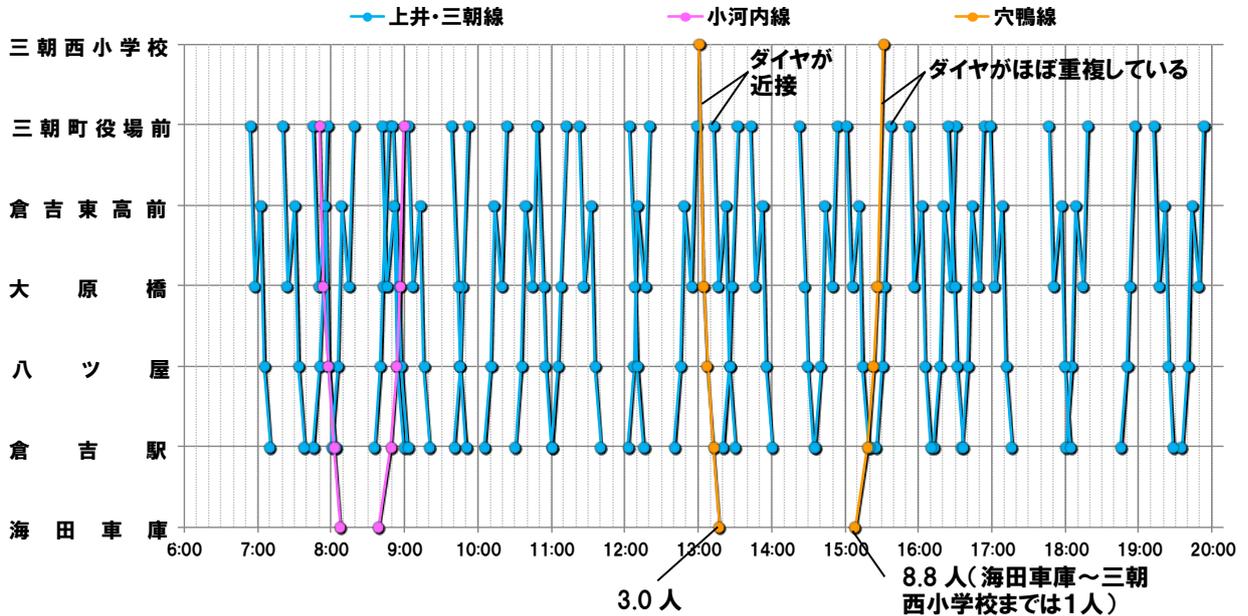


図 44 三朝町役場～倉吉駅・海田車庫間山ダイヤ（上井・三朝線、小河内線、穴鴨線）

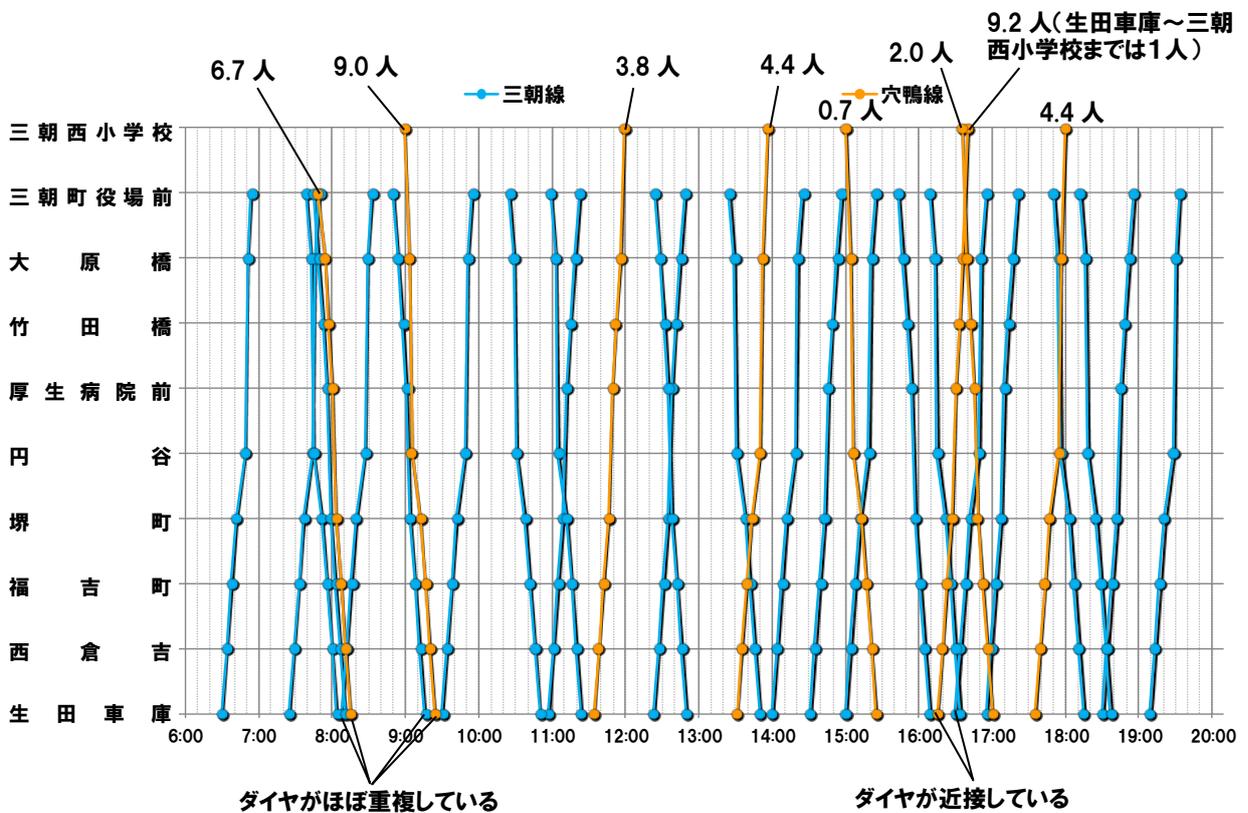


図 45 三朝町役場～生田車庫間山ダイヤ（三朝線、穴鴨線）

【検討の視点】

- 小学生・高校生の通学及び一般の通院に使われている系統については、従来通り広域路線として確保する必要がある。
- 穴鴨線を穴鴨地区と三朝町役場前間を結ぶ町内路線として位置づけ、通学便・通院便以外は運行範囲を三朝町内のみとして系統キロ数を短縮することが考えられる。
- 通学便以外については、短縮した路線を「ドア・トゥ・ドア型のデマンド型乗合タクシーの導入」または「定時定路線型のバスによる運行」により対応することが考えられる。

②小河内線

【現状】

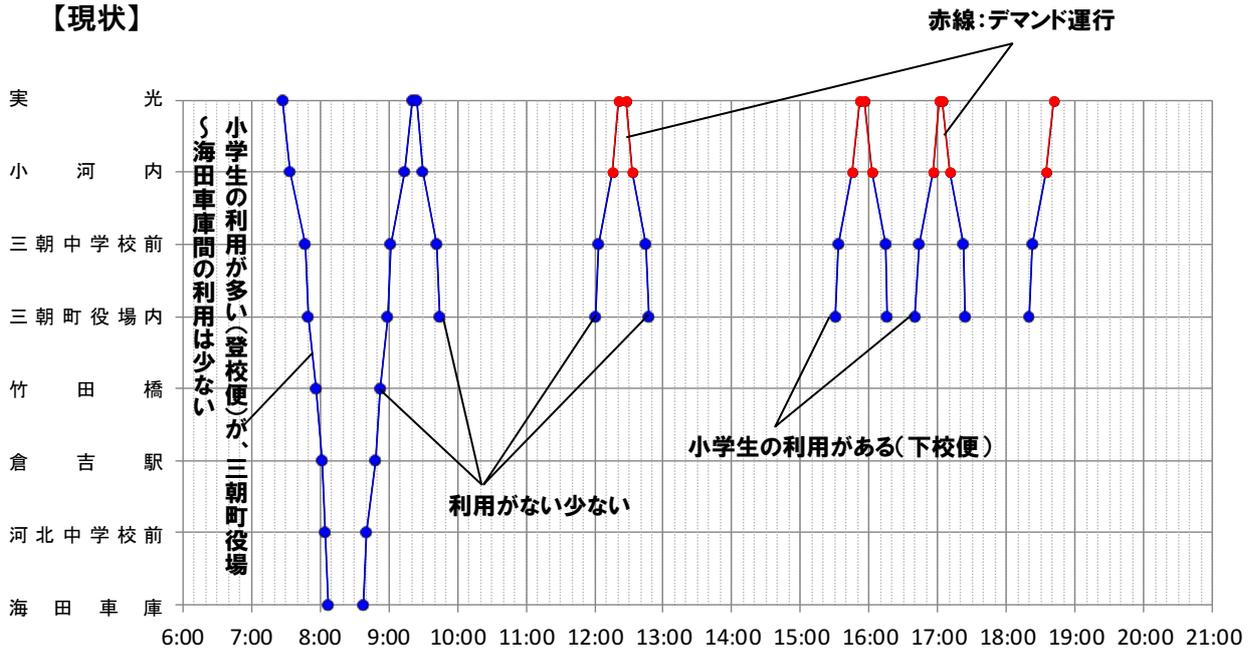
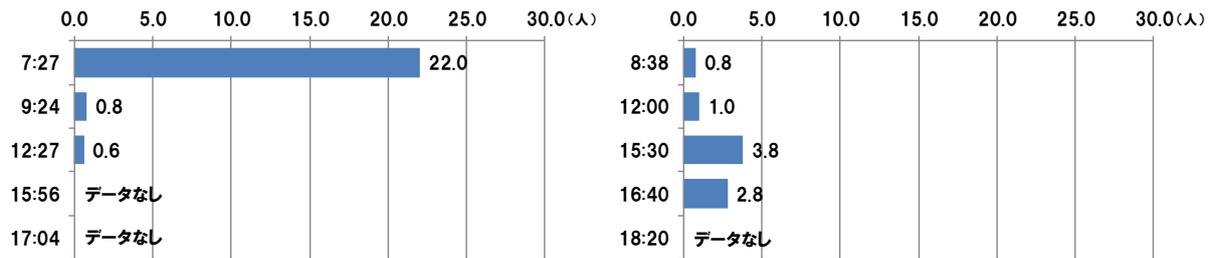


図 46 小河内線山ダイヤ (現状)



(上り：実光⇒三朝町役場・海田車庫)

(下り：海田車庫・三朝役場⇒実光)

図 47 小河内線ダイヤ別利用者数 (H23~27 年度 OD 調査結果の平均値)

【問題点・課題】

- 小学生の通学以外は利用が少なく、特に実光～三朝町役場間について持続可能な効率的運行が求められる。

【検討の視点】

- 小学生の通学便については定時定路線を確保する必要がある。
- 実光～海田車庫の系統を上りのみとし、三朝町役場内止めとすることも考えられる。
- 通学便以外については、短縮した路線を「ドア・トゥ・ドア型のデマンド型乗合タクシーの導入」または「定時定路線型のバスによる運行」により対応することが考えられる。

12 土日祝日ダイヤの見直し

- 観光関係ヒアリング結果等を踏まえ、観光移動に適した土日祝日ダイヤの再編を検討する。具体的には通勤・通学時間帯のダイヤを調整し、観光移動時間帯（9:00～16:00）のダイヤの充実を図るなどの検討を行う。

表 21 路線別平日と休日の便数比較

No	路線名	下り便数		上り便数		運行事業者
		平日	休日	平日	休日	
1	市内線	2	0	3	0	日本交通
2	関金線	15	12	16	12	
3	関金（山口線）	5	3	4	2	
4	北条線	9	7	9	8	
5	橋津線	16	12	17	12	
6	広瀬線	8	2	8	2	
7	パークスクエア線	5	5	5	5	
8	松崎・北方線	7	6	7	6	
計		67	47	69	47	
9	社線	10	8	10	8	日ノ丸自動車
10	高城線	8	7	7	6	
11	北谷線	5	6	6	7	
12	上井・三朝線	17	16	19	18	
13	三朝線	13	13	11	11	
14	穴鴨線	8	6	7	5	
15	小河内線	5	2	5	2	
16	栄線	4	4	3	3	
17	赤碓線	14	11	14	11	
18	横田線	3	0	3	0	
計		87	73	85	71	

13 タクシーの活用等による効率的な運行形態の導入

- 三朝町のバス路線再編の検討の中で、デマンド型乗合タクシーの導入等についても代替交通の選択肢として考慮する。
- 地域からの要望に対応し、交通空白地域を中心にタクシーを活用した効率的な運行を住民と協働で検討する。

14 中心市街地における過密ダイヤの緩和

- 「事業 1-3 の 5・6」の改善案を勘案した過密ダイヤ緩和方策を検討する。

事業2-1 円滑な移動のための環境整備

15 バス停及び主要拠点の待合環境整備

○再編計画の進捗に併せ、以下の新規バス停について待合環境整備を検討する。

- ・西倉吉工業団地内バス停（西倉吉工業団地内への延伸）
- ・西福守町・鴨川町バス停（通学時間帯における赤碓線の西倉吉経由便新設）
- ・鳥取短期大学バス停、上井羽合線沿いバス停（鳥取短期大学への路線バスの乗り入れ）
- ・国道179号沿いバス停（北条線・橋津線の延伸による河北地域へのバス乗り入れ）

16 住民等との協働による待合環境整備

（1）鳥取短期大学とのコラボレーション

○鳥取短期大学のカリキュラムの中に「バス停のデザイン」を組み入れて、学生のデザインしたバス停のコンテストを行い、優秀作品に賞品を贈るとともに最優秀作品については実際に整備することなどを検討する。

○これにより、学生等にバス交通への興味を持ってもらい、利用促進につなげていくことが期待される。



図 48 大学生による「木製のバス停」のデザイン（三重県熊野市と名古屋学芸大学メディア造形学部デザイン学科）
※「三重県」HP より

(2) その他のコラボレーション

○上記のような取り組みについて、総合産業高校などの中部圏域内高校に広げた取り組みを検討する。

○高校生によるバス停の作成、既存デコレーションや車両のラッピング等の取り組みを検討する。



図 49 高校生によるバス停づくり（岩手県野田村/くじ工業高校建設環境科）※「のだ村魅力発信隊」ブログより



図 50 阿南高生デザインのラッピングバス（長野県阿南市）
※「南信州新聞」HP より



図 51 立命館高生によるバス停看板デザイン（京都府）
※「京都新聞」HP より

17 バス車両のバリアフリー化、UD タクシーの利活用の推進

- バス更新時期に併せ、車両のバリアフリー化を引き続き推進していく。
- 障がい者だけでなく、外国人観光客や一般利用者にも乗りやすいUD タクシーの積極的な活用方法を検討する。

表 22 他地域の事例

ユニバーサルツーリズム（川崎工場夜景タクシープラン）	
実施地域	神奈川県川崎市
実施主体	川崎タクシーグループ
概要	<p>○川崎市の施策「川崎ウェルフェアイノベーション推進計画」を活用し、一般社団法人川崎市観光協会と連携し、2015年1月より約3か月のモニタリングを経て同年4月よりスタートした。</p> <p>○工場夜景プランの概要は、JR川崎駅発着（ドアツードア対応可）で、水江町、千鳥町、川崎マリエンなどの臨海部の夜景スポットを巡り、首都高速道路川崎線からの夜景鑑賞も楽しめる。市民ガイド「川崎工場夜景ナビゲーター」が同行し、各スポットの解説を行う。又、ドライバー自身も（一社）神奈川県タクシー協会認定の「かながわ観光タクシー」認定ドライバーの資格を取得しているため、ドライバー自身が高いスキルを持ったツアーコンダクターとしてご案内することもできる。</p>
コミュニティタクシー（なでしこ号）	
実施地域	宇部市西宇部地区
実施主体	西宇部校区コミュニティタクシー運営協議会（宇部山電タクシー株式会社に運行委託）
概要	<p>○UD タクシーまたはセダン型タクシーが、駅・商業施設～高台の団地間の規定ルート上を、運賃100～300円で運行（停留所での乗り合い乗車）</p>

事業2-2 乗り換え接続の改善

18 乗り換え接続時間の短縮化

- 通勤・通学・通院時等における乗り換え時間の短縮を図り、移動利便性の向上を図る。
- 具体的には、三朝町から倉吉市西部への移動、赤碕線から倉吉市西部への移動の際に乗り換えが発生することから、乗り換え時の接続時間の短縮化を検討する。

19 乗り換え情報の提供

- 白壁土蔵群・赤瓦周辺のバス停において、三朝方面へ行くバス路線への接続表示を検討する。

事業2-3 ICカードの導入に関する研究

20 ICカードの導入可能性の研究

- ICカードの導入に向けて、導入システム、導入時期及びスケジュール、必要経費負担の考え方等の研究を引き続き行っていく。

事業3-1 高校生のバス利用促進

21 自家用車送迎からバス利用への移行促進

- 学校別の利用促進チラシの作成
 - ・学校別最適ダイヤのピックアップ
 - ・JR、バスによる通学経費の提示
- 配布時期の検討
 - ・琴の浦支援学校は夏休み期間中の説明会で配布
 - ・その他の高校は、中学校主催の高校説明会または各高校の合格者説明会で配布
 - ・中学校で配布する場合、チラシを中学校に渡し、配布時期は中学校に一任する方法も考えられる。

22 割引定期のPRと利用促進

- 学校別利用促進チラシにより割引定期のPRを行う。
- 具体的な割引率や金額等の詳細情報を提供する。

23 新たな割引制度・助成制度の創設

(1) 鳥取短期大学への新たな制度の導入

- 鳥取市の鳥取環境大学で実施しているシステムの鳥取短期大学への導入を検討する。
 - ・土日まちなか周遊促進制度（土日に学生が無料でバスを利用できる制度）

通学について

■ 学生生活・学外学修交通システム(路線バスを活用したスクールバス)を利用する場合

日本交通が運行している路線バスのうち、鳥取駅-環境大学前-若桜車庫間を、学生証を提示するだけで乗車することができます。

さらに、日本交通では混雑が予想される時間帯に、講義時間に合わせて、鳥取駅-環境大学間に専用のスクールバスを運行しており、こちらも学生証を提示するだけで乗車することができます。

また、「日本交通株式会社と本学との公共交通の活用に関する協定」により、土、日、祝日のほか春期・夏期・冬期休業など学生にとっての休業日には、日本交通が運行する鳥取県東部地区の全路線(くる梨、ループ麒麟獅子、湯村温泉ゆめぐりエクスプレスは除く。)に学生証を提示するだけで乗車することができます。



■ 一般の公共交通機関を利用する場合

○通学定期券

通学定期券は、通学の目的で現住所から大学までの最短区間に限り購入できます。JR、バス等公共交通機関で通学定期券を購入する場合、「通学証明書」と「学生証」の提示が必要です。

通学証明書の発行は学務課窓口で行います。通学証明書の有効期限は1ヶ月です。通学区間以外の証明書は発行しません。

下記の要領に従い、各交通機関窓口で手続きしてください。

- JR
学生証・通学証明書が必要です。
- 日本交通(株)バス
学生証が必要です
- 日ノ丸自動車(株)バス
年度の初回購入時は、学生証・通学証明書が必要です。次回からは、学生証と旧の定期券があればそれと引き替えに新しい定期券が発行されます。

注意事項

転居などで通学区間の変更のある場合は学務課に届け出てください。

通学定期券は、現住所から大学に通学する目的のためだけに購入できるものです。アルバイト等他の目的のために区間を変更することはできません。

図 52 鳥取環境大学のバス通学に関する案内（鳥取環境大学ホームページより）

表 23 他地域の事例

制度名	学生100円バス
実施主体	庄内交通株式会社
<p>①名称:学生100円バス ②開始日:平成30年2月15日 ③料金:100円(降車時に在学中の学校で発行された顔写真付きの学生証の提示が必要) ④対象者:中学生・高校生・大学生(在住の地域は問わない) ⑤その他: ※対象区間が設定しており、100円区域内から逸脱した乗降の場合や乗越の場合は、乗車した停留所から降車した停留所まで通常のバス運賃となる。 ※支払いは現金のみ。その他の割引との併用は不可。 ※定期券を買う場合は通常運賃での換算となる。</p>	
制度名	高校生バス通学助成制度
実施主体	静岡県伊豆市
<p>◆補助対象:①～③に該当する生徒又はその保護者 ①高等学校等に在籍する者 ②伊豆市に住所を有する者 ③中学校卒業後3年以内の者(特別な事情がある場合は延長可能) ◆補助要件 市内の乗合バス事業者が発券する通学定期券で、生徒の居住地に最寄りのバス停から、生徒が通学する高等学校の最寄りのバス停(バスのみ)の使用に限る)、または駅までの区間において、実際利用する区間のもの(片道通学定期券、通学ウィークデー定期券についても補助対象、回数券は除外) ◆補助金額 通学定期券の購入費用から片道200円の通学定期代相当額を差し引いた額の3分の2(片道200円以下の区間の定期券は対象外)</p>	
制度名	路線バス通学利用促進プロジェクト
実施主体	滋賀県蒲生郡竜王町
<p>①通学定期を半額補助 対象:30歳未満の町内に住所を有する中学生、高校生その他学生 対象路線:竜王町内を発着する路線バス(他市のコミュニティバスは除く) 対象経費:通学定期代および通学学期定期代(通学定期回数券は、補助対象外) 補助額:通学定期の半額(10円未満切り捨て)※補助上限は1か月あたり10,000円 ②夜間特別便(相乗りタクシー) 利用者:30歳未満の町内に住所を有する中学生、高校生その他学生で、かつ、通学定期または通学学期定期を所有する者 運行期間:平成30年4月1日から平成31年3月31日まで(土日祝日含む) 発車時刻 21:00、22:00(岡谷線を利用されている方は平日21:00の便は利用不可) 乗車手続き:事前予約が必要 利用料金:無料(ただし乗車時に通学定期または通学学期定期の提示が必要)</p>	

事業3-2 高齢者等のバス利用促進

24 割引定期のPRと利用促進

○平成30年9月20日に実施した公共交通利用促進キャンペーンPRイベントを周知する際、各市町の老人クラブに割引定期のPRを実施した。

25 新たな利用助成制度の創設

○以下のような事例を参考にし、新たな利用助成制度を検討する。

表 24 他地域の事例

高齢者外出支援バス利用助成制度	
実施主体	千葉県南房総市
対象	65歳以上で、以下の①～⑥のすべてに該当する方 ①本市に居住し、住民基本台帳（外国人登録原票）に登録されている ②要介護認定を受けていない ③前年度分の市町村民税が非課税世帯に属している。または、運転免許返納者である（運転経歴証明書など所持者） ④福祉タクシーの受給者でない ⑤高齢者外出支援タクシーの受給者でない ⑥自力でバスの乗り降りができ、乗車中の身の安全を介添え無しに行える
対象区間	館山日東バス（株）、鴨川日東バス（株）、JRバス関東館山支店に所属し、安房郡市内を対キロ区間制で運行する路線バス
概要	○市内に在住の高齢者（65歳以上）が民間バスを利用する場合に、その料金の一部または全部を助成するサービス。 ○対象者の要件を満たした方に、高齢者外出支援バス利用助成券カードと、高齢者外出支援バス利用助成券（1回の利用につき150円の助成）を50枚を限度に交付する。 ○年度途中において決定を受けた受給者については、以下のとおり交付する。 ・4月～7月：50枚、8月～11月：30枚、12月～3月：15枚 ○バスを降りる際に交付者本人を証明する高齢者外出支援バス利用助成券交付者カードを提示。高齢者外出支援バス利用助成券を1枚渡し、利用料金から助成金を差し引いた額を支払う。
敬老特別乗車券（敬老バス券）	
実施主体	宮崎県都城市
対象	都城市在住の満70歳以上の人
対象区間	都城市内（高速バスは利用できない）
概要	○高齢者の生きがいを高め、自主的活動を助けるために、宮崎交通、三州自動車、高崎観光バスの乗車券を交付する。 ○1乗車につき100円の助成（回数券やバスカードでの支払いは出来ない） ○新規交付および更新手続きのときに年1回1,000円の交付手数料が必要（生活保護受給者は申請により免除されるが、保護証明書の提出が必要）
敬老バス	
実施主体	宮崎県宮崎市
対象	宮崎市に引き続き3ヶ月以上住所を有する満70歳以上の方
対象区間	宮崎交通のバス路線で、乗車・降車バス停どちらかが宮崎市内の場合（県外にまたがる特急バス、高速バス、定期観光バスを除く） ※乗車・降車がどちらも宮崎市外である場合は、1乗車100円の対象外となります。（＝区間運賃全額が利用者の負担となります。）
概要	○移動手段としてのバスを利用しやすくすることで、高齢者の外出を促進し、社会参加やいきがいつくり、健康づくりにつなげていただくことを目的としている。 ○敬老バス力発行に際し、カード預かり料として500円。乗車賃として1回の乗車ごとに100円。（回数券不可。乗り換えをする場合はその都度100円必要）

悠遊バス	
実施主体	宮崎県宮崎市
対 象	宮崎市に引き続き 3 ヶ月以上住所を有する満 65 歳以上 69 歳以下の方
対象区間	県内発着の宮崎交通の路線バス（県外にまたがる特急バス、高速バス、定期観光バスを除く。ただし、一部高速バスのみ利用可。）
概 要	○移動手段としてのバスを利用しやすくすることで、高齢者の外出を促進し、社会参加やいきがいつくり、健康づくりにつなげていただくことを目的とする。 ○購入費 (販売価格)-(助成額)=(購入費) 15,000 円-2,500 円=12,500 円 ※ただし、初回のみカード預り料として別途 500 円が必要。 ○乗車時負担金 (実運賃)：(利用者負担金)～850 円：100 円/860～1,680 円：300 円/1,690 円～：500 円
高齢者バス・タクシー利用助成事業	
実施主体	静岡県裾野市
対 象	以下の地区に住んでいて、前年度の 3 月 31 日現在で満 70 歳以上の裾野市民の方 ○公文名 5、峰下市の瀬、切久保、上原、上原団地、原、上須、深良新田、岩波、千福、御宿新田、上城、中村、下条、中里、田場沢、森脇団地、上ケ田、金沢、今里、下和田、呼子、矢崎、トヨタ、御宿台、千福が丘
対象区間	○市内を運行する路線バス（富士急シティバス株式会社、富士急行株式会社） ○市内に本社があるタクシー会社のタクシー ※路線バス、タクシーとも乗降箇所いずれかが市内であること ※高速バスは対象外
概 要	○市内を運行する路線バスとタクシーで使用できる利用助成券をすその一の運行区域外に住む希望する高齢者に配布することにより、乗車料金の負担を軽減し、高齢者の生活圏の拡大と社会参加を促すことを目的とする。 ○1 回の乗車につき 100 円（同一年度 1 人につき 10 枚） ※有効期限は交付を受けた年度の 3 月 31 日まで ○1 枚につき 100 円の助成券を交付し、運賃を支払うときに精算する。精算の際には、運転免許証等本人確認のできるものを提示する必要がある。助成券を利用できるのは、現金で支払う場合のみとする（他の助成券、クーポン券との併用は不可）。
高齢者バス運賃助成事業	
実施主体	兵庫県芦屋市
対 象	満 70 歳以上の方
対象区間	阪急バスが芦屋市内において発着する運転系統の全区間
概 要	○市内を運行する阪急バス路線において、所定の運賃の半額（220 円であれば 110 円）で乗車できる「高齢者バス運賃割引証（IC カード）」を発行する。 ○乗降車時に割引証を読み取り機にあてる。降車時に運賃を自動で精算する。（利用の際は、乗車する前にお金をチャージする必要がある）
高齢者バス等優待乗車助成制度	
実施主体	兵庫県姫路市
対 象	満 75 歳以上の方（ただし、障害者バス等の優待制度を受けている方を除く）
概 要	下記の中から 1 つを選択。 ○バス/神姫バスの市内停留所間の運賃が 1 回 50 円になる優待乗車証（IC カード）を交付。 ○電車/JR 西日本、山陽電車の各駅間で使用できる年間 8,000 円分の優待乗車カード（ICOCA）を交付。（次年度からはチャージ券を交付） ○船舶/姫路港・家島港（家島・坊勢・男鹿）間の定期航路において片道の運賃が無料になる優待乗船券を年間 8 枚交付。 ○タクシー（介護保険法に基づく要介護 3、4、5 の認定を受けている方に限る）/市内を運行するタクシー会社で利用可能な優待乗車券（1 枚 500 円）を年間 16 枚交付する。
70 パス（高齢者割引バス利用券）	
実施主体	大分県豊後高田市
対 象	市内に居住する満 70 歳以上の方
対象区間	利用できるバスは、伊美線のみ（「犬田」～「伽藍」バス停間）。宇佐駅まで利用する際は 70 パス券と差額分の現金を支払う必要がある。

概要	<ul style="list-style-type: none"> ○「路線バス」又は「市民乗合タクシー」と「路線バス」を乗り継ぐ場合に、片道 200 円で乗降可能な乗車券 ○市役所で 70 パス券（10 枚綴り：2 千円）を購入し、路線バス、市民タクシー乗車時に購入した券を渡す。（購入する際に、路線バスのみか市民乗合タクシーを併用するかを申し出る必要がある）
松本市福祉 100 円バス助成事業	
実施主体	長野県松本市
対象	<ul style="list-style-type: none"> 本市に住民登録がある、次のいずれかの方 ○満 70 歳以上の方 ○身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方
対象区間	<ul style="list-style-type: none"> ○松本市内のバス路線と西部地域コミュニティバス路線及び上高地線電車全線 ○安曇地区・奈川地区の対象者の方のみ 100 円で利用できるバス路線 ○福祉 100 円バス助成事業で利用できないバス路線（特急バス路線全線・観光地路線・高速バス）
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者や障害者の方の交通手段を確保することで、その生きがい・健康づくりや社会活動を支援するとともに、公共交通機関の利用促進を目的として福祉 100 円バス助成事業を実施している。 ○松本市内のバス路線と西部地域コミュニティバス路線及び上高地線電車全線が、1 乗車 100 円で利用できる。
高齢者おでかけバスカード	
実施主体	岐阜県岐阜市
対象	70 歳以上の人（6 か月以上ねたきりの状態にある人を除く）
対象区間	岐阜乗合自動車（株）が運行する路線で（高速バス等一部路線を除く）及び市内コミュニティバス。
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○額面 3,000 円と終日 2 割引で乗車できる特典がついたカードで、一人に 1 回のみ交付する。 ○カードに入金（積み増し）ができ、1 枚のカードを繰り返し利用することができる。（再転入・カードの失効等により 2 度目の交付を受ける際には、額面 3,000 円の特典がついていないカードとなる。）
ワンコインシルバーパス	
実施主体	佐賀市交通局
対象	65 歳以上の方（佐賀市以外の方も購入可能）
対象区間	佐賀市営バスの全路線
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○有効期間内は乗車区間にかかわらず、1 乗車につき 100 円（ワンコイン）で市営バス全路線が利用できる乗車券。 ○パス券を提示のうえ、1 乗車につき現金で 100 円を支払う。（回数券・IC カードで支払う場合は、通常運賃となる。）
グランドバス 65	
実施主体	西鉄バス
対象	満 65 歳以上の方
対象区間	<ul style="list-style-type: none"> ○西鉄路線バス全線と臨時バス（各地とイベント会場を結ぶ「高速」「特急」の臨時バスを除く）で利用可能。 ○深夜バスにも利用できる（追加運賃は不要）。 ※ただし、高速・特急路線の深夜バスを利用する場合は、追加運賃（乗車区間の通常運賃）を支払う必要がある。
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○西鉄の路線バス全線が 1 ヶ月 6,000 円で乗り放題になる定期券。 ○このバスにより、高速バス（佐賀～天神、佐賀～福岡空港含む）が半額、西鉄電車もポイントにより実質半額となる。
長泉町高齢者外出支援制度（高齢者タクシー・バス利用助成事業）	
実施主体	静岡県長泉町
対象	4 月 1 日時点で、長泉町に住民登録があり、かつ 75 歳以上（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、地域密着型グループホームに入所している場合、又は病院に入院している場合は対象外）
対象区間	長泉町と契約しているタクシー会社・バス会社で利用可能

概 要	○タクシー・バスで利用できる利用券を 50 枚（100 円×50 枚＝5,000 円分）交付 ○利用期限は申請した年度の 3 月 31 日まで
長泉町高齢者外出支援制度（外出支援サービス事業）	
実施主体	静岡県長泉町
対 象	○長泉町に住民登録がある 65 歳以上の方で、次の①～④すべての条件を満たす方 ①要介護 1～5 の認定を受けている ②町民税非課税世帯に属している ③一般の交通機関を利用することが困難 ④障害者手帳の交付を受けていて、自動車税または軽自動車税の減免を受けていない
概 要	○居宅と医療機関の移動のために利用するタクシー料金の初乗り運賃を助成する利用券を交付する。 ○利用券は、申請した月から年度末までの月数×4 枚を発行し、月 4 枚まで利用可能。

26 運転免許証自主返納者等、移動困難者への対応

○各自治体で取り組んでいる運転免許証自主返納者、移動困難者等への対応について、拡充、見直し等を検討していく。

表 25 各自治体・団体の取り組み状況

実施団体	支援内容
三朝町	○タクシー利用券交付（月 4 枚）1 枚につき最高 5,000 円助成（利用者は最低 280 円負担）
湯梨浜町	○タクシーチケット 1 か月あたり 500 円を 2 枚助成 ※期間等についての条件あり
琴浦町	○町営バスの回数券（11 枚綴り 7 冊分、7,000 円相当）を交付
北栄町	○タクシー利用券交付（月 8 枚）1 枚につき最高 800 円助成（利用者は最低 300 円負担）
（一財）鳥取県観光事業団	○「中国庭園燕趙園」「鳥取二十世紀梨記念館」等の施設で入場料 2 割引（同伴者 1 名まで）
（一財）鳥取県交通安全協会	○運転経歴証明書申請手数料全額補助
（一財）鳥取県ハイヤータクシー協会	○鳥取県内のタクシー・ハイヤー運賃 1 割引
日ノ丸自動車（株）	○日ノ丸バス単独路線の定期券購入時に 1 割引
JR西日本（株）	○運転免許証自主返納時にポケット時刻表を交付

○倉吉市の制度

【支援内容】

- ・路線バス定期券「グランド 70」25,700 円分（6 ヶ月間有効）に対し、自己負担金 2,000 円で購入できるよう助成。（購入回数 2 回/年）※初年度のみ
- ・タクシー共通乗車券 25,000 円分（6 ヶ月間有効）に対し、自己負担金 2,000 円で購入できるよう助成。（購入回数 2 回/年）

【支援対象者】以下の 3 点を同時に満たす方

- ・満 70 歳以上の方（自主返納時）
- ・倉吉市に住所がある方（自主返納時）
- ・運転経歴証明書の交付を受けられた方（※平成 30 年 4 月 1 日以降に自主返納された方が対象）

【制度施行日】平成 30 年 7 月 1 日

表 26 他地域の事例

高齢者等おでかけ支援事業	
実施主体	埼玉県日高市
対 象	①自力での移動が困難な市内在住（日高市の住民基本台帳に記録されている方）の75歳以上 ②運転免許証を自主返納した市内在住の75歳未満の人
対象区間	<p>【バス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際興業バス/回数券、定期券、彩京のびのびバス ・イーグルバス/回数券、定期券 ・西武バス/定期券 <p>○利用可能区間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の移動（乗車場所と降車場所が市内） ・市外との移動（乗車場所と降車場所のいずれかが市内） <p>【タクシー】</p> <p>高麗川交通、日高ハイヤー、西武ハイヤー（1回の乗車につき、1人1枚使用できる。）</p> <p>○利用可能区間</p> <p>市内の移動、市外との移動（市内から市外への移動のみ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用できる時間は午前8時から午後5時まで。 ・有効期限は、交付年度の3月末日まで。
概 要	<p>○市では、平成29年7月から開始した高齢者おでかけ支援事業の試行結果等を踏まえ、4月から内容を一部見直し、自力で移動することが困難な高齢者等が、買い物や通院等の外出をしやすくなるよう、路線バスまたは、タクシーの運賃の一部補助を行う。</p> <p>○次のいずれか1つを選んで申請し、交付を受けることができる。</p> <p>※交付は1年度に1回。なお、運転免許証を自主返納した市内在住の75歳未満の人は自主返納時1回限り（申請は返納後1年以内）。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. バス乗車券の購入費補助（上限額7,300円） 2. タクシー利用補助券の交付（730円×10枚）
長泉町高齢者外出支援制度（高齢者運転免許証自主返納支援事業）	
実施主体	静岡県長泉町
対 象	長泉町に住民登録があり、運転免許証を自主的に返納した65歳以上の方
対象区間	長泉町と契約しているタクシー会社
概 要	<p>○運転経歴証明書の交付手数料（1,000円）を助成する</p> <p>○タクシー料金が1割引きとなる利用券を交付する</p>

事業3-3 企業・事業所のバス利用促進

27 企業・事業所への意識啓発の取り組み

- 企業・事業所を対象とした利用促進チラシの作成を行う。
- ヒアリングの際確認した、協力頂ける企業・事業所を中心にチラシを配布する。

28 パーク&ライドの促進

- JR 駅周辺でのパーク&ライドの可能性を検討する。

事業3-4 バス体験活動の実施

29 バスの乗り方教室・体験試乗会の開催

(1) 「公共交通乗り方教室」の開催

○開催時期／平成30年10月21日(日)10:30～

鳥取県中部福興祭のイベントとして実施

○会場／倉吉線鉄道記念館周辺(倉吉市)

○参加者数／284人

○実施主体／鳥取県中部福興祭実行委員会

○実施内容

- ・公共交通の役割や利用方法、交通安全・マナー等の説明
- ・バス車両への体験乗車(乗車方法、運賃の支払い方法、降車時の注意点等)
- ・UDタクシー展示や車いす利用方法等の説明
- ・公共交通利用の普及啓発パネル展示や乗り方教室参加者等へのノベルティ配布
- ・利用者へのお得な情報の紹介・資料配布(割引定期、バスロケーションシステムなど)



図 53 「公共交通乗り方教室」(平成30年10月21日/倉吉市)

30 商業施設等とのタイアップによる利用促進

- 平成 23～24 年度にかけて実施した河北地域へのバスの乗り入れの実証運行の際、商業施設とタイアップして利用促進を図った。
- 具体的には、希望する店舗に対し回数券綴りを配布し、一定額以上購入された方に対し回数券を進呈した。(乗車証明書の提示が必要) このような取り組みの可能性を探り、商業施設との協議を行う。

表 27 他地域の事例

路線バスキャッシュバックキャンペーン (奈良県奥大和地域)
<p>○キャンペーンに参加している施設への宿泊で、路線バス運賃をキャッシュバックする。</p> <p>(1) 実施期間：平成 28 年 12 月 1 日 (木曜日)～平成 29 年 3 月 31 日 (金曜日) ※3 月 30 日 (木曜日) 宿泊、31 日 (金曜日) チェックアウトまでが対象となる</p> <p>(2) キャンペーン内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○路線バスを利用して奥大和地域に訪れた宿泊者(キャンペーン参加施設に限る)に対し、対象路線の路線バス運賃をキャッシュバックする。 ○帰りも復路チケットの提示により対象路線の乗車が可能になる。 ※同一バス路線のバス停であれば自由に乗降車できます。
お買い物バス (横浜市交通局)
<p>○市営バスと沿線にある神奈川区「おおぐち通商店街」が連携し、PR や商品・サービスを提供しあうことにより、市営バスの利用促進と沿線商店街の活性化を図る。</p> <p>(1) 特典内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○買い物をしてスタンプ 30 コを集めると「おおぐち通商店街オリジナルマグカップ」をプレゼント ○3 ヶ月ごとに抽選で <ul style="list-style-type: none"> ・「横濱ベイサイドライン」1 日コース、ペアで 1 組様 ・「市営バス 1 日乗車券」 親子 20 組様 (大人 1・小児 1) ○20 店舗の店では商品の割引などの特典が受けられる。 <p>(2) 利用方法</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市営バス乗車時に「おおぐち通商店街へお買い物に行く」と乗務員に伝え、『得とくチケット』とリーフレット(スタンプ台紙付)を受け取る。 ②買い物をする際、『得とくチケット』を提示すると、商品の割引等の特典が受けられる。 ③帰りの際、「得とくチケット」を市営バス乗務員に渡すと、無料で乗車できる。 <ul style="list-style-type: none"> ○適用系統 <ul style="list-style-type: none"> ・7 系統/横浜駅前(東口)～大口通～川崎駅西口・29 系統/横浜駅前(東口)～大口通～鶴見駅前 ・31 系統/横浜駅西口～大口商店街～大口駅前 ○適用時間/午前 10 時～午後 4 時 ○実施日/平成 21 年 10 月 1 日(木)～(※平成 24 年 3 月 31 日(土) サービス終了) ○相互の PR <ul style="list-style-type: none"> ・交通局 <ul style="list-style-type: none"> ▶バス車内で「おおぐち通商店街」の売り出しやイベント等を PR する。 ▶交通局ホームページでの PR や、商店街ホームページへのリンクを設定する。 ・商店街 <ul style="list-style-type: none"> ▶各店舗で「横濱ベイサイドライン」、「あかいくつ」、「みなとぶらりチケット」、「ハマエコカード」等の交通局商品の PR を行う。
福岡オーブントップバス (西日本鉄道(株))
<p>○西日本鉄道(株)が運行する、市内観光 2 階建てオープンバス『FUKUOKA OPEN TOP BUS』(FOTB) の乗車券は、福岡都心一日フリーエリアの一般路線バスや福岡シティループバス「ぐりーん」が一日乗り放題となるオプションがセットになっている。</p> <p>○「バスの発車時刻までどこかでゆっくり食事や休憩をしたい」、「バスを降りた後も、福岡の街を楽しみたい」といった要望に応えるため、「IMS」や「福岡三越」など天神地区の 5 商業施設と連携し、FOTB の乗車券を呈示すると、各施設の飲食店にて割引もしくはデザート・ドリンクサービスが受けられる特典を設定した。</p> <p>○また、FOTB の乗車券で、福岡シティループバス「ぐりーん」の一日乗車券「ぐりーんバス」と同様、「福岡タワー」や「福岡市博物館」など 7 施設での割引特典を受けることができる。</p> <p>○サービス開始日：平成 24 年 4 月 28 日(土)</p>

浜松まちなかお買い物きっぷ（浜松市）

- 島田駅～新所原駅の各駅から浜松駅までの「JR往復きっぷ」と、メイワン、メイワンエキマチ（マクドナルドを除く）、遠鉄百貨店、オークラアクティシティホテル浜松（各レストラン）、浜松商店界連盟にて利用できる「お買い物券 1,000 円分」がセットになったきっぷ。
- 毎日利用可能（※1月1日は除く）○利用日当日（前売はなし）○有効期間は発売日当日限り

まちなかループバス（高松市）

- 平成 17 年から丸亀町商店街振興組合が運行している「まちバス」については、その利便性向上と利用促進、ひいては中心市街地の活性化を図るため、ことでんバスが運行している市民病院ループバス、県立中央病院線との統合により、東・西回り各 2 台、計 4 台で運行する「まちなかループバス」として、平成 27 年 10 月 1 日から、新しいルートで運行を開始した。
- 高松丸亀町商店街で買い物をすると、金額に応じて乗車サービス券がもらえる（一部取り扱いをしていない店舗もある）。
- 利用促進として、丸亀町商店街と香川大学経済学部西成ゼミの学生が連携して「まいまい MAP」（戦前の地図と現在の地図を見比べながら、知られざるまちの歴史や魅力が発見できるよう、香川大学の学生が作成したまちあるき案内 MAP）を作成した。

事業4-1 多様な情報提供と内容の充実

31 ICT等を活用した情報提供の強化

(1) バスネットの有効活用

○バスネットについて住民をはじめ、学校関係者等への周知を図ることで、様々なバス情報の収集を容易にする。

○バスネットのバスロケーションシステム等を活用し、悪天候時におけるバスの運行情報収集に寄与する。

(2) SNSによるバス情報の発信

○フェイスブックやツイッター等の SNS で、バス事業者より悪天候時や事故等の緊急事態の際のバス運行に関する情報の提供を行う。

32 時刻表・バスマップの作成

○鳥取県中部圏域のバス路線図、時刻表、バス停の位置、倉吉駅のバス乗場の紹介、赤瓦・白壁土蔵群等の観光地とバス停の位置を記した図などを配した時刻表・バスマップを作成する。

○住民をはじめ観光客や高校生にも活用できるよう、利用促進も含めて広く配布する。

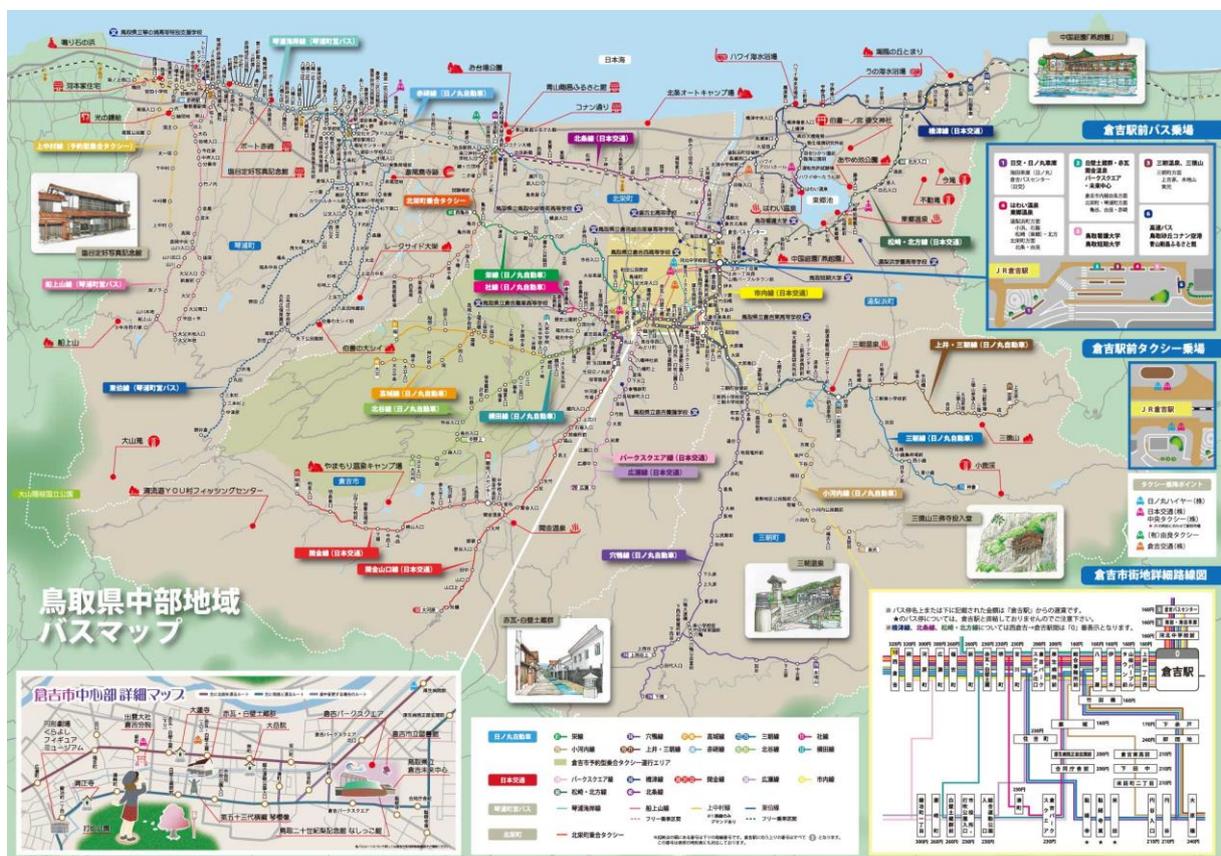


図 54 鳥取県中部地域バスマップ (中面)

事業5-2 貨客混載の取り組み検討

33 貨客混載の導入に向けた検討

○貨客混載の導入に向けて、物流会社とバス事業者で検討、調整中。

事業6-1 住民との協働によるしくみづくり

34 公共交通利用促進に関する情報提供

○各市町の広報紙を通して、普段から公共交通の利用促進を図っていく。具体的には、バスの利用状況や収支状況（補助金額）のお知らせ、経年変化、問題点・課題等を整理して情報発信し、「乗って守る」という意識啓発を行っていく。

(1) 公共交通利用促進キャンペーンの実施について

○公共交通の利用者が年々減少傾向にある中、公共交通を維持確保していくためには、みんなで乗って守り未来へつないでいくことが重要であることから、交通事業者や行政等で「みんなが乗りたくなる公共交通利用促進協議会」を6月に設置し、9月を公共交通利用促進強化月間と定め、現在、公共交通利用促進キャンペーン等を実施している。

①キャンペーンの名称

「乗って！守って！公共交通利用促進キャンペーン」
～公共交通の維持確保、みんなで乗って守って未来へつなぐ～

②キャンペーン実施時期

○平成30年9月の一カ月間（公共交通利用促進強化月間）
※9月20日（木）～30日（日）（バスの日・秋の全国交通安全運動期間）には集中的にPRを展開します

③主な取組み

◆公共交通PRイベント

公共交通利用促進のぼり掲出やパネル設置、交通トリピー（着ぐるみ）によるPR、チラシ・ノベルティ配布等を実施する。

【中部】9月20日（木）午前7時15分～8時30分 倉吉駅周辺

【東部】9月20日（木）午後4時～5時 イオンモール鳥取北

【西部】10月16日（土）午後2時～3時 イオンモール日吉津

◆公共交通利用促進PRポスター・のぼり掲出、チラシ配架

各市町村、主要駅（鳥取駅、倉吉駅、米子駅等）、バスターミナル（鳥取、倉吉、米子）、集客施設、商業施設、観光施設等での利用促進PRチラシ配架・のぼり旗掲出、地域イベント等におけるPR活動を展開する。

◆県政だより特集、市報等によるPR広報

県政だよりや各協議会構成員の広報紙、ホームページや市町村ケーブルテレビ等の既存の広報媒体等によるキャンペーン広報を実施する。

◆公共交通乗り方教室の開催（県内3カ所）

県内で開催されるイベントにあわせ、公共交通の利用方法等の説明、バスやUDタクシーへの体験乗車などの公共交通乗り方教室を開催する。

【中部】10月21日（日）午前10時30分～午後3時30分

鳥取中部福興祭（主催：鳥取中部福興祭実行委員会）

場所：倉吉線鉄道記念館周辺

【東部】10月28日（日）午前11時～午後3時

智頭町はたらくのりもの展（主催：智頭町）

場所：智頭駅前周辺

【西部】12月2日（日）午前11時～午後2時

労福協まつり（主催：鳥取県労働者福祉協議会西部支部）

場所：米子産業体育館

「みんなが乗りたくなる公共交通利用促進協議会」について

公共交通の利用促進に向けた取組みを連携して行うことを目的に国・県・市町村・交通事業者・交通関係団体等が「みんなが乗りたくなる公共交通利用促進協議会（会長：県地域振興部長）」を6月に設置した。

【構成メンバー】

県交通政策課、市町村公共交通担当課、鳥取運輸支局、日ノ丸自動車、日本交通、JR西日本米子支社、若桜鉄道、智頭急行、県バス協会、県ハイヤータクシー協会、鳥取県交通運輸産業労働組合協議会



表 28 キャンペーンポスター/開催日の様子（平成30年10月21日/倉吉市）

35 住民との協働による運行のしくみづくりの研究

○住民からの要望に応じ、住民が主体となって運行するしくみについての勉強会を適宜実施する。

表 29 他地域の事例

生活バスよっかいち（三重県四日市市）	
事業主体	NPO 法人生活バス四日市
背景	<p>○鉄道駅と住宅地を結ぶ路線バスが利用者の減少により廃止されることになり、自動車を持たない住民の買い物・通院の足がなくなることが懸念された。市に対して存続を要請したが、地域にとって満足な結果にはならなかったため、地域住民の手で存続の道を探ることになった。</p> <p>○平成 14 年 11 月 1 日に無料の試験運行を開始。その成果を踏まえて 12 月に NPO 法人認証申請、翌 15 年 3 月 NPO 法人認証と路線バスの許可を取得、4 月 1 日より本格運行開始。</p>
役割分担の工夫	<p>①事業主体は地域住民を中心として設立された NPO 法人</p> <p>②対象地域を商圏とするスーパーサンシが協賛。同社は他地域においてもお買い物バスの経験があり、地域貢献できるお買い物バス路線を検討していた。</p> <p>③市は地域貢献協働体の協賛企業として有力なスーパーサンシを地域に紹介するとともに、テスト運行の実績を踏まえて、運営費の不足分を補充するための市独自の補助金制度を創設。</p> <p>④運行は従前から地域の路線を担当していた三重交通に委託。</p>
効率化や継続に向けた工夫	<p>①路線の工夫 従前は市の中心部の鉄道駅と対象地域を結ぶ路線だったが、最寄り駅との間に変更し、また地域の協賛事業者協働体としてスーパー、病院等も路線に組み込み、生活ニーズにこたえた。また、運行時間外を利用して、月 1 回（第 3 土曜日）福祉センターへの高齢者の送迎も実施しており、生活ニーズに合わせた運行を行っている。</p> <p>②利用しやすさの工夫 バス停間隔を 200～300m 程度と短くした。バス停設置に道路使用許可をとらなくて済むよう、沿線住民等に私有地を無償で利用させてもらうなどの協力を得た。協力を依頼するにあたってはリーダーの努力で協力を推進することができた。</p>
過疎地・福祉有償運送（青森県佐井村）	
事業主体	佐井村社会福祉協議会
背景	<p>○佐井村は津軽海峡に面し、南北 40km と細長い損行き海岸沿いに集落が点在。人口減少、高齢化が進んでいる。最寄りの都市（むつ市）にも村中心部を除いて路線バスでの日帰りは不可能。車を持たない住民は集落に閉じこもる傾向にあった。</p> <p>○過疎地有償運送制度を利用したオンデマンド交通を村民ボランティアの協力を得て、平成 17 年 11 月より開始。平成 18 年本格運行開始。</p>
役割分担の工夫	<p>①実施主体は社会福祉協議会で、予約受付や配車などを実施。また、協議会職員が輸送ボランティアになったり、協議会所有車両を輸送に利用したりしている。</p> <p>②事業主体は村。社会福祉協議会の運用費用を負担している。</p> <p>③運行者は村民や社会福祉協議会職員の（有償）ボランティア。運行時に利用者から料金を徴収するが、全額協議会に納入後、協力金を 10 日ごとに受け取る。</p> <p>④地域のスーパーであるマエダに一般運転協力者が会員を乗せていった場合に、1 回ごとにスタンプを押してもらって、スタンプがたまればマエダの商品券と交換できる。</p>
効率化や継続に向けた工夫	<p>①わかりやすく利用しやすい運賃設定 村内、村外をそれぞれ 8 ゾーンに分割し、ゾーンごとの運賃を設定。タクシー利用よりも安く、また相乗りすると割安になる設定をしている。</p> <p>②運転協力者の講習の支援 有償運送許可証の更新が 3 年ごとにあり、そのたびに運転協力者の登録が必要になる。当初運転協力者になるための費用は村が社会福祉協議会の運営費として負担した。また、国土交通省指定の自動車教習所や福祉移送サービス NPO の協力を得て講習を行った。</p>

36 住民等との協働による待合環境整備への協力

○倉吉市においては、バス停を地域や企業で設置する際、「倉吉市住民参加型・地域企業貢献型バス停留所上屋整備事業費補助金」の制度により、協働による待合環境整備を行っている。このような制度の構築、周知を行い、整備推進を図っていく。

表 30 他地域の事例

朝倉市バス待合所等設置事業補助制度（福岡県朝倉市）	
事業概要	路線バスの利用促進や利便性向上を図るため、バスの待合環境等の整備に取り組む交通事業者や住民自治組織に対し、バス停上屋や駐輪場整備等に要した費用の一部を補助する。
対象となる団体	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの運行事業者 ・市内の住民自治組織（コミュニティ協議会や行政区）など
対象となる事業	路線バスのバス停待合所から駐輪場等の設置又は修繕を行う事業を対象とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・待合所（バス停の上屋） ・駐輪場（バス停から概ね50m以内にあり、自転車が5台以上収容できる広さを有するもので、かつ、無料で利用できるものに限る。） ・ベンチ など ※ただし、土地の取得や賃貸に係る経費及び補助対象事業費が10万円未満の事業は除く。
補助金額	<ul style="list-style-type: none"> ・補助率 補助対象事業費の1/2です。 ・補助限度額 1か所あたり、50万円が上限です。
その他	この補助金を活用して設置した待合所や駐輪場は、原則として補助金の交付目的に反した使用や処分はできない。
新発田市バス待合所等設置事業補助金（新潟県新発田市）	
補助金対象	○自治会又は複数の自治会 ※複数の自治会で設置する場合は、いずれかの自治会が代表で申請する
対象経費	（1）バス待合所の新設及び修繕に係る経費 （2）バス利用者のための自転車置き場を設置する経費 ※いずれも、用地費、備品費、事務費は対象とならない ※自転車置き場は、バス停から概ね20m以内に設置したものに限り
補助金額	○対象経費の2分の1の額（上限25万円）※1,000円未満切り捨て
市民バス停留所整備事業補助金（久慈市）	
事業概要	補助対象者が維持管理を行う市民バスの停留所の設置または修繕に要する経費のうち、工事費及び付帯小路に要する経費を補助
補助金額	当該経費の2分の1以内の額（1か所につき50万円を限度とする）

事業6-2 持続可能な運行体制支援

37 ドライバーの確保・育成支援

○鳥取県が主催し、バスドライバーの確保を目的として平成30年12月15日に鳥取県自動車運転免許試験場（湯梨浜町）でバスの運転体験、参加者と事業者の面談等のイベントを行う。

～公共交通の担い手確保セミナー開催概要～

1. 時 期 平成30年12月15日（土） 10時～12時
2. 場 所 運転免許試験場（湯梨浜町）
3. 対象者 約20名程度
4. 主 催 鳥取県、鳥取運輸支局、鳥取県バス協会、鳥取県ハイヤータクシー協会
5. 共 催 日本交通（株）、日ノ丸自動車（株）
6. 内 容
 - 公共交通の運転手の仕事PR
 - ・バス事業者及びタクシー事業者が路線バスやタクシー運転手の仕事内容について説明
 - 路線バス及びUDタクシー運転体験会
 - ・運転免許試験場を利用して路線バス及びUDタクシーの運転体験を実施
 - 公共交通事業者との就職相談会
 - ・バス事業者及びタクシー事業者と個別に就職相談を実施

鳥取県西部地域公共交通再編実施計画に伴う路線バス運行開始について

平成30年11月1日
交通政策課

県西部地域において、県内初となる具体的な路線再編をまとめた地域公共交通再編実施計画認定に基づく再編路線が平成30年10月1日から運行開始しました。

1 米子市・日吉津村循環線の運行開始について

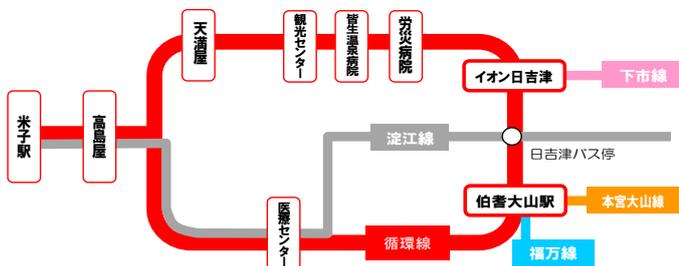
(1) 路線再編の内容

ア 住民アンケートで最もニーズが高かった商業施設や医療施設をつなぐ循環線（右回り4便・左回り4便）を設定し、通院や買い物等の利便性を向上させた。

イ 西部地域の広域バス路線は米子駅を起終点としているので、「下市線」、「本宮・大山線」、「福万線」の一部を循環線と接続させ、米子駅を経由しなくても商業施設や医療施設に行けるようにし、時間短縮と運賃の節約を図った。

（例：医療センター～イオン日吉津（所要時間：1時間11分→32分(39分短縮) 運賃：580円→250円)

【再編イメージ図】



<期待されるメリット>

- ・循環線経路上に多くの病院や商業施設があるため高齢者の通院・買い物がしやすくなる。
- ・新たにイオン日吉津～伯耆大山間約2kmを結び循環線とすることで日吉津・米子市東部の利便性が高まる。
- ・枝線（福万線、本宮線、下市線）を循環線に接続させることで沿線住民の移動利便性が高まる。

(2) 米子市・日吉津村循環線出発式

ア 日時 平成30年10月1日（月）午前8時28分頃

イ 場所 米子駅バスターミナル前

ウ 内容 バス事業者、自治体職員による循環線バス初便出発の見送り



循環線バス運行開始の横断幕

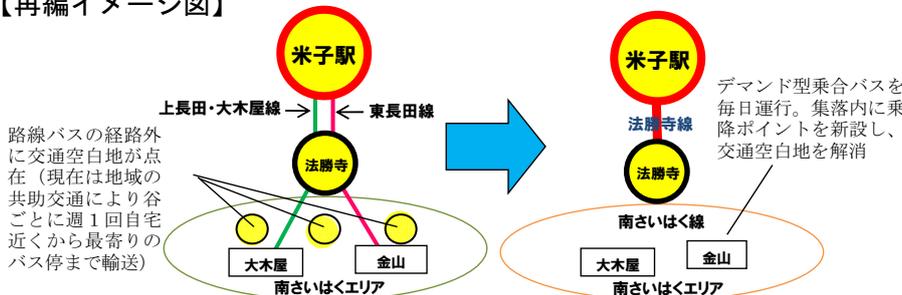
2 南部町さいはくデマンドバス運行開始等について

(1) 路線再編の内容

ア 路線バス（上長田・大木屋線、東長田線）の経路外である南部町の南さいはくエリアの交通空白地について、現行の共助交通（週1回）の維持・存続がドライバー不足等で困難なことから町営デマンド型乗合バスを毎日運行させ、集落内にも乗降ポイント（計59か所）を設置することで交通空白地を解消した。

イ 併せて、米子駅と法勝寺間を結ぶ法勝寺線のダイヤ・便数を適正化し、運行を効率化した。

【再編イメージ図】



<期待されるメリット>

- ・南さいはく地域の交通空白地について、現在の週1回運行のボランタリー共助交通から、乗降ポイントをきめ細かく設定した毎日運行の町営デマンド型乗合バスに切り替えることで利便性が向上。
- ・法勝寺線のダイヤの適正化により、運行の効率化が図られる。

(2) 南部町ふれあいバス（南さいはくデマンドバス）出発式

ア 日時 平成30年10月1日（月）午後3時50分～午後4時20分

イ 場所 南部町図書館前

ウ 出席者 陶山南部町長、秦南部町議会議長、福岡県議会副議長

井上南さいはく地域振興協議会会長、中山西部総合事務所長 ほか

エ 内容 出席者あいさつ、テープカット、ドライバーへ花束贈呈、デマンドバス出発見送り



出席者によるテープカット